



REEL No. A-1168

0360

アジア歴史資料センター

寫

A 7.0.0.9-17

本行は、  
敵國の  
財産管理  
（外交官）  
の  
事務に  
関係する  
事項  
に  
関する  
旨の  
指示  
あり

大日本帝國政府

藏爲總第一九七六九號

昭和十六年十二月二十九日

外務次官 宛

大藏次官

敵國外交機關領事機關並ニ外交官及領事官ニ關スル財産取扱ニ關スル件

昭和十六年十二月十九日附着信ヲ以テ御通知相成候首題ノ件ニ關シテハ當方トシテハ先方ニ於テ貴見ト同様ノ取扱ヲ爲スコトヲ條件トシテ同意スルコトト致度尙本件ニ關スルノミナラズ本邦側財産ニ對スル米英ノ取扱振リニ關スル情報ハ其ノ都度速ニ當方ニ御連絡相煩度此段及回答候也

大日本帝國政府

普通第一一二三號

昭和十六年十二月十九日

外務次官

大藏次官 殿

敵國外交機關領事機關並ニ外交官及領事官ニ關スル財産取扱ニ關スル件

今般本邦ニ於テ敵産管理法施行セララルコトト相成リタル處敵國外交機關及領事機關ニ屬スル動産及不動産並ニ敵國外交官及領事官ノ私有財産ハ之ヲ本法ノ適用外トスルコト國際法上ヨリ見テ當然ト認メララル次第ナルニ付テハ貴方ニ於テ素ヨリ右御諒知ノコトト存スルモ爲念此段申進ス

敵國の  
財産管理  
（外交官）  
の  
事務に  
関係する  
事項  
に  
関する  
旨の  
指示  
あり

公 信 案

外 務 省

日本標準規格 B5

締ヲ実施シ来リ今次開戦ニ伴ヒ更ニ之ヲ強化スル所アリ  
カ更ニ進ニテ敵口財産ヲ積極的ニ管理統制スル必要ヨ  
リニテ昭和十一年十二月二十三日敵口財産管理法並ニ関係命令  
公布ヲ見タリ本件ハ貴任口ニ於ケル同種取扱振ノ参考  
トシテ本件ニ左記ノ通り本件  
ヲ送付送附ス御查收相成度ニ  
本件宛先滿洲州仙台奉天省天津

發信用		執務用		懸案
主信	7	1	8	
附甲				
附乙				
附丙	7	1	8	

商局第...  
三

文書課長

文書課發送 昭和三十七年一月九日

主 通商局長 了 勅任事務官 了

主 通商局第一課長 了

昭和三十七年一月六日起草

正校(原稿) 了 (淨書)

淨書

別紙

東 17.1.8

通商局 17.1.7

一二課

通一機密 第一三三號

昭 勅給大率 壹月拾貳日 附屬表

受 在滿大使 在北京  
在又大使 在天津總領事  
在印大使 在上海總領事  
在泰大使 (別表あり)

信 在又大使 在天津總領事  
在印大使 在上海總領事  
在泰大使 (別表あり)

名 件 敵口関係取引及財産之関ニ本邦ニテ執リタル措置ニ関スル件

名 件 録 記

名 人 信 發 東 卿 大臣

米英等ノ諸口及此等口ノ取引ニ関シテハ昭和十七年七月ノ資  
産凍結以降外口ヲ替管理理法ニ依リ相当に嚴重ナル取

公 信 案

外 務 省

2. 51

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

明 (別添紙)

本信送付先

記

一 敵産管理法同施行令同施行規則 敵産管理法  
適用ノ受クル敵口ノ告示 敵産管理手冊令官制令

文 (別添甲号)

二 敵産管理法案要綱 (別添乙号)

三 敵産管理法施行令要綱 (別添丙号)

四 敵産管理法施行規則要綱 (別添丁号)

五 敵産管理手冊令官制要綱 (別添乙号)

三十七年八月十日 敵産管理法ニ関スル大抵大逆提案理由復  
外 務 省

(日本標準規格 B5)



外機密

電信寫

A70.0.9-17

昭和17 一〇七四 暹 暹本 一月十日發  
本省 十一日發着

東京外務大臣

千葉公使

第一六號

(敵産處理問題ニ關スル件)

敵産處理ニ關スル委員會官制公布セラレタル趣ノ處大東亞戰ノ目  
的カ茲(蘭ヲ含ム)及米ノ勢力擴張ニアルニ際ミ馬六、南印、澳  
洲等ニ於テハ敵産ノ觀念ニ擴張シ米米糖等(但シ支那ヲ除ク)ノ  
法人及個人ニ屬スル私有財産ヲ包含マシムルコト戰後ノ經營上切  
大ノ便宜アルヘシト存セラル  
石ハ本使カ臺灣及海南島ニ於ケル土地所有問題ニ付聞及ヒタル所

引得タル結論ナリ何筆御參考迄

(事故ノ爲遅延)

敵産  
事務  
部  
長  
官  
印  
記

別紙添附

通一普通合第一三號

昭和十七年一月十二日

外務大臣 東郷 茂、徳

敵國關係取引及財産ニ關シ本邦ニテ執  
リタル措置ニ關スル件

米英等ノ諸國及此等國人ノ取引ニ關シテハ客年七月ノ資産凍結以  
降外國爲替管理法ニ依リ相當嚴重ナル取締ヲ實施シ來リ今次開戰  
ニ伴ヒ更ニ之ヲ強化スル所アリタルカ更ニ進ンテ敵國財産ヲ積蓄  
的ニ管理統制スル必要ヨリシテ客年十二月二十三日敵國管理法並  
ニ關係命令ノ公布ヲ見タリ本件ハ責任國（貴地）ニ於ケル同種取  
扱振ノ參考トナルヘキヲ以テ茲ニ左記ノ通り本件資料送付ス御査

收相成度シ

記

一 敵産管理法、同施行令、同施行規則、敵産管理法ノ適用ヲ受ク  
ル敵國ノ告示、全文（別添甲號）

二 敵産管理法案要綱、敵産管理法施行令要綱、敵産管理法施行規  
則要綱、敵産管理委員會官制要綱（別添乙號）

三 第七十八回帝國議會委員會ニ於ケル敵産管理法ニ關スル大藏大  
臣提案理由説明（別添丙號）

本信送付先 在北京（大）、南京（大）、上海、蘇州、天津、  
山海關、石門、青島、濟南、徐州、漢口、廣東、  
海口、南京、蕪湖、廈門、張家口、厚和、太原、  
芝罘、杭州、九江、汕頭、滿、佛印、「タイ」

敵産管理法

第一條 政府ハ必要アルトキハ敵産ニ關シ管理人ヲ選任シ之ヲ管理セシムルコトヲ得

本法ニ於テ敵産トハ敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ニ屬シ又ハ其ノ者ノ保管スル財産（事業若ハ營業又ハ之ニ對スル出資ヲ含ム）ヲ謂フ

第二條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ敵産ニ關シ政府ノ指定スル者ニ對スル賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第三條 敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ニ對シ債務ヲ負擔スル者ハ政府ノ指定スル者ニ對シ前條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ管轄命令ニ依リ政府ノ命ニ依リ債權ノ目的物タル金貨又ハ物ノ支拂又ハ引渡ヲ爲シタルトキハ其ノ債務ヲ免ル

第四條 敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ハ其ノ者ニ屬シ又

ハ其ノ者ノ保管スル財産（事業若ハ營業又ハ之ニ對スル出資ヲ含ム）ガ第一條第一項ノ管理ニ付セラレタルトキハ其ノ財産（事業若ハ營業又ハ之ニ對スル出資ヲ含ム）ニ關シ處分其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ニ規定スルモノノ外第一條第一項ノ管理及管理人ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ノ外或ニ於テ爲ス行爲ニシテ左ニ掲グルモノノ取得又ハ處分ヲ目的トスルモノハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

一 本邦内ニ在ル動産又ハ不動産

二 本邦内ニ在ル事業若ハ營業又ハ之ニ對スル出資

三 本邦證券

四 本邦又ハ本邦内ニ在ル者ニ對スル債權

第六條 第一條第一項ノ規定ニ依リ管理セシムル敵産ニシテ登記又



ハ登録ノ規定アルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ管理ニ關スル登記又ハ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第七條 第一條第一項ノ管理ニ要スル費用ハ本人ニ歸スル敵産ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ得

第八條 第一條第一項ノ管理ヲ免レ又ハ之ヲ妨グル目的ヲ以テ敵産ヲ取得、處分、隠匿、毀棄又ハ損壞シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス但シ當該敵産ノ價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超コルトキハ罰金ハ當該價額ノ三倍以下トス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第九條 第二條ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ當該命令ニ依ル政府ノ命令ニ從ハザル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前二條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前二條ノ罰

#### 金刑ヲ科ス

第十一條 本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲敵産管理委員會ヲ置ク

敵産管理委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

#### 附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年十二月八日以後本法施行前敵國、敵國人其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ノ外國ニ於テ爲シタル行爲ニシテ第五條ニ掲グルモノノ取得又ハ處分ヲ目的トスルモノハ行爲ノ時ニ遡リテ之ヲ無効トス

勅令第千七百七十九號

敵産管理法施行令

- 第一條 敵産管理法及本令ニ規定スル敵國ハ大藏大臣之ヲ告示ス
- 第二條 敵産管理法及本令ニ於テ敵國人トハ左ニ掲クルモノヲ謂フ  
一 敵國ノ國籍ヲ有スル個人（日本ノ國籍ヲ有スル個人ヲ除ク）  
二 敵國ノ公共團體及ヒ之ニ準スルモノ  
三 敵國內ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人  
四 敵國ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ前號ニ該當セサルモノ
- 第三條 敵産管理法第一條第二項、第三條、第四條第一項、第五條又ハ附則第二項ノ規定ニ依リ定ムル者ハ左ニ掲クル者（第一號乃至第三號ニ掲クル者ニシテ大藏大臣ノ指定スルモノヲ除ク）トス  
一 敵國內ニ居住スル個人  
二 法人ノ敵國內ニ在ル支店其ノ他ノ營業所

三 敵國人以外ノ法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數カ敵國、敵國人又ハ敵國內ニ居住スル個人ニ屬スルモノ

四 大藏大臣ノ指定スルモノ

大藏大臣前項ノ規定ニ依リ指定シタルトキハ之ヲ告示ス

第四條 敵産管理法第一條第一項ノ管理人（以下敵産管理人ト稱ス）

ハ大藏大臣之ヲ選任ス

大藏大臣ハ必要アルトキハ敵産管理人ヲ解任スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ敵産管理人ヲ選任シタルトキハ大藏大臣之ヲ

告示ス前項ノ規定ニ依リ解任シタルトキ亦同シ

第五條 敵産（敵産管理法ニ規定スル敵産ヲ謂フ以下同シ）ニシテ敵産管理人ノ管理スルモノモモノ處分其ノ他ノ行爲（法人ノ事業又ハ營業ノ管理ニ在リテハ法人ノ意思決定、業務執行及代表ヲ含ム）ヲ爲ス權限ハ敵産管理人ニ專屬ス

敵産管理人ノ管理スル敵産ニ關スル訴ニ付テハ敵産管理人ヲ以テ原告又ハ被告トス

第六條 敵産管理人ハ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ其ノ職務ヲ行フ事ヲ要ス

敵産管理人ガ前項ノ注意ヲ怠リタルトキハ其ノ敵産管理人ハ利害關係人ニ對シ損害賠償ノ責ニ任ズ

第七條 敵産管理人ハ其ノ管理スル敵産中登記又ハ登録アルモノニ付テハ管理ノ開始後遲滞ナク當該敵産管理人ノ之ヲ管理スル旨ノ登記又ハ登録ヲ申請スベシ

前項ノ規定ハ法人ノ專業又ハ官署ガ敵産管理人ノ管理ニ付セラレタルトキ當該法人ニ付之ヲ準用ス

第八條 敵産管理人ハ前條ノ規定ニ依ル登記又ハ登録ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク變更ノ登記又ハ登録ヲ申請スベシ  
敵産管理人ハ管理終了シタルトキハ遲滞ナク前條ノ規定ニ依ル登

記又ハ登録ノ抹消ノ登記又ハ登録ヲ申請スベシ

第九條 前二條ノ規定ニ依リ登記又ハ登録ズヘキ事項ハ登記又ハ登録ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

敵産管理人ニ依ル債權ノ管理ハ之ヲ債務者ニ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ債務者其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十條 大藏大臣ハ必要アルトキハ敵産ニ關シ大藏大臣ノ指定スル者ニ對スル賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第十一條 敵産管理法第五條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ認可申請書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

第十二條 敵産管理法第七條ノ規定ニ依リ支辨スヘキ敵産管理人ノ報酬ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十三條 本令中大藏大臣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ樺太廳長官トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

敵産管理法施行規則

第一條 敵産管理法第一條第一項ノ規定ニ依ル敵産ノ管理ハ當該敵産ニ付敵産管理人ノ選任アリタル日ヨリ開始ス

第二條 敵産管理人ノ管理ニ付セラレタル敵産ヲ占有スル者ハ當該敵産管理人ノ請求アリタルトキハ直ニ之ヲ當該敵産管理人ニ引渡スベシ但シ當該敵産ニ付質權又ハ留置權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 敵國、敵國人又ハ敵産管理法施行令第三條第一項各號ニ掲グル者ニ屬シ又ハ其ノ者ノ保管スル財産ガ敵産管理人ノ管理ニ付セラレタルトキハ當該敵國、敵國人又ハ敵産管理法施行令第三條第一項各號ニ掲グル者ニ對シ債權又ハ債務ヲ有シ其ノ他財産上ノ利害關係ヲ有スル者ハ管理開始ノ日以後二週間以内ニ之ヲ當該敵産管理人ニ通知スベシ

第四條 敵産管理人ハ管理開始後遲滯ナク其ノ管理スル敵産ノ財産

目錄ヲ本令附屬報告書式第一號ニ依リ作成シ大藏大臣ニ提出スベシ

敵産管理人ハ曆年ニ依ル四半期毎ニ其ノ管理スル敵産ニ付各期間ニ於ケル増減ノ内容及管理ノ状況竝ニ各期末ニ於ケル現在高ヲ本令附屬報告書式第二號ニ依リ大藏大臣ニ報告スベシ

第五條 敵産管理人ハ帳簿ヲ備付ケ其ノ管理ニ付セラレタル敵産ノ管理ニ付必要ナル事項ヲ記載スベシ

第六條 敵産管理法施行令第十條ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ指定スル者ニ賣却スベキコトヲ命ジタル場合ノ賣却價額ハ大藏大臣之ヲ定ムルコトヲ得

第七條 敵産管理法第五條ノ規定ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書正副三通ヲ作成シ最寄ノ地ニ駐在スル日本ノ大使、公使若ハ領事又ハ最寄日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スベシ

- 一 申請者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
  - 二 取得又ハ處分ノ相手方ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號
  - 三 取得又ハ處分スル財産ノ種類、數量、價額及所在地
  - 四 取得又ハ處分ノ目的其ノ他之ヲ必要トスル事由
  - 五 取得又ハ處分ノ原因及方法
  - 六 對價タル通貨其ノ他ノ財産ノ種類、數量、價額及所在地並ニ其ノ支拂又ハ受領ノ時期其ノ他ノ條件
  - 七 取得又ハ處分スル財産ノ受渡地
  - 八 取得又ハ處分ノ時期
  - 九 其ノ他參考トナルベキ事項
- 第八條 大藏大臣ハ必要アルトキハ本令ニ定ムルモノノ外報告ヲ徵シ又ハ本令ニ定ムル報告ヲ免除スルコトヲ得
- 附 則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

報告書式第一號（第四條第一項）

管理財産目錄

昭和何年何月何日現在

敵國人等ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號

敵産管理人ノ住所、職業及氏名又ハ商號

敵産管理人選任ノ日 昭和何年何月何日

種	類		所在地	數量	單價	金額	財産ノ狀況	備考
	資	負						
	産	債						

準則1、本報告書ハ二通ヲ作成シ敵産管理人選任ノ日以後二週間以

内ニ最寄日本銀行ヲ經テ大蔵大臣ニ提出スベシ

2、個人財産ニ在リテハ世帯毎ニ取纏メ記載ノ上報告スルコトヲ得

3、繰延資産負債、繰上資産負債又ハ見返資産負債ニ付テハ報告スルニ及バズ

4、種類ノ欄ニハ資産ニ在リテハ土地（永代借地權ヲ含ム）、建物、機械器具、什器備品（家財道具ヲ含ム）、商品、有價証券、地上權其ノ他土地ニ關スル權利、工業所有權其ノ他ノ財産權、出資金、貸付金、賣掛金、受取手形、小切手、取引先勘定、其ノ他ノ債權、預ケ金又ハ現金、負債ニ在リテハ借入金、預入金、買掛金、支拂手形、取引先勘定其ノ他ノ雜債務又ハ保證債務ニ分チ成ルベク具体的ニ記載スベシ

5、所在地ノ欄ニハ當該財産ノ所在地ヲ記載シ第三者ノ保管ス

ル財産、債權又ハ債務ニ在リテハ當該保管者、債務者又ハ債權者ノ住所、職業、國籍及氏名又ハ商號ヲ併記スベシ

6、金額ノ欄ニハ外貨表示ノモノニ在リテハ外貨額及邦貨換算額ヲ、證券ニ在リテハ額面金額及時價ヲ併記シ動産、不動産等ニ在リテハ取得價額、時價又ハ記帳價額ヲ記載スベシ

7、財産ノ狀況ノ欄ニハ財産ノ新舊其ノ他財産ノ保存狀況、價貸ノ有無、收益ノ有無、賣却ノ見込ノ有無等ヲ成ルベク具體的ニ記載スベシ

8、敵國人ノ住所ヲ記載スル場合ニ在リテハ住所不明ノトキハ居所ヲ記載スベシ住所ノ外ニ居所ヲ有スルトキ亦同ジ

9、本報告書ノ用紙ノ大イサハ縦二五七耗横三五六耗トスベシ



大藏省告示第五百八十五號

敵産管理法施行令第一條ノ規定ニ依リ敵産管理法及敵産管理法施行令ノ敵國ハ左ニ掲グルモノトス

昭和十六年十二月二十四日

米國（「フィリッピン」聯邦及領地全体ヲ含ム）

英國（印度及海外領土ヲ含ム）

敵産管理法 案要綱

米英蘭諸國及此等諸國人ノ取引ニ關シテハ本年七月ノ資産凍結以降外國爲替管理法ニ依リ相當嚴重ナル取締ヲ實施シ來リ特ニ開戦後ハ更ニ之ヲ強化シタルモ敵國及敵國人ニ付テハ其ノ財産ニ關シ管理人員ノ設置、廢却命令等積極的ナル措置ヲ講スル等ノ要アルヲ以テ新ニ左記内容ノ單行法ヲ制定セントス

記

- 一 政府ハ必要アルトキハ敵産ニ關シ管理人員ヲ選任シ之ヲ管理セシムルコトヲ得ルコト
- 二 政府ハ敵産ニ關シ政府ノ指定スル者ニ對スル賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得ルコト
- 三 敵國又ハ敵國人ニ對シ債務ヲ負擔スル者カ本法ノ規定ニ基ク政府ノ命令ニ從ヒ目的物ノ支拂又ハ引渡ヲ爲シタルトキハ該債務ニ付免責セララルコトトナスコト

乙 號



四 敵國又ハ敵國人カ外國ニ於テ爲ス行爲ニシテ左ニ掲クル財産ノ取得又ハ處分ヲ目的トスルモノハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレハ効力ヲ生セサルコトトナスコト

(1) 本邦内ニ在ル動産又ハ不動産

(2) 本邦内ニ在ル事業若ハ營業又ハ之ニ對スル出資

(3) 本邦證券

(4) 本邦又ハ本邦内ニ在ル者ニ對スル債權

五 本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應スル爲敵産管理委員會ヲ設置スルコト

備 考

(一) 本法ハ外國爲替管理法ト一體ヲ爲シ敵國及敵國人關係ノ取引ノ取締並ニ財産ノ管理ニ付完璧ヲ期シ得ルモノトス

(二) 敵産管理委員會ノ委員ハ關係各廳ノ次官又ハ局長級ヲ以テ之ニ充ツルコト

敵産管理法施行令要綱

一 敵國ハ大藏大臣之ヲ告示スルコト

二 敵國人トハ左ニ掲グル者ヲ謂フコト

(1) 敵國ノ國籍ヲ有スル個人(日本ノ國籍ヲ有スル個人ヲ除ク)

(2) 敵國ノ公共團體及之ニ準ズルモノ

(3) 敵國內ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人

三 左ニ掲グルモノハ敵産管理法及同法施行令ノ規定ノ適用ニ付敵國人ト同様ノ取扱ヲ受クルモノトスルコト

(1) 敵國內ニ居住スル個人

(2) 法人ノ敵國內ニ在ル支店其ノ他ノ營業所

(3) 人的關係、資本關係等ニ於テ敵國、敵國人等ニ支配セララルル法人

(4) 大藏大臣ノ指定スルモノ

- 四 敵産管理人ハ大藏大臣之ヲ任免スルコト
- 五 管理中ノ敵産ノ處分其ノ他ノ權限ハ敵産管理人ニ專屬スルコト
- 六 敵産管理人ハ其ノ職務執行ヲ爲スニ當リテハ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要スルコト
- 七 敵産管理人ハ其ノ管理スル敵産中登記又ハ登録セラレ居ルモノニ付テハ管理財産ナル旨ノ登記又ハ登録ヲ申請スベキコト
- 八 大藏大臣ハ必要ニ應ジ敵産ニ關シ賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト
- 九 敵産管理法第五條ノ認可ヲ受ケントスルモノハ大藏大臣ニ申請スベキコト
- 十 敵産管理人ノ報酬ハ大藏大臣之ヲ定ムルコト

敵産管理法施行規則要綱

- 一 敵産ノ管理ハ敵産管理人ノ選任アリタル日ヨリ開始セラルルコト
- ニ 質權者、留置權者等正當ナル權限ニ依リ占有ヲ爲ス者ノ外管理中ノ敵産ヲ占有スル者ハ敵産管理人ノ請求アリ次第之ガ引渡ヲ要スルコト
- 三 敵國、敵國人等ノ所有又ハ保管スル財産ガ管理ニ付セラレタルトキハ該敵國、敵國人等ニ對シ債權、債務其ノ他財産上ノ利害關係ヲ有スル者ハ敵産管理人ニ之ヲ通知スルヲ要スルコト
- 四 敵産管理人ハ其ノ管理スル敵産ニ關シ大藏大臣ニ報告ヲ要スルコト
- 五 大藏大臣ハ必要アルトキハ敵産管理人ニ對シ帳簿書類ノ備付ヲ命ジ得ルコト
- 六 敵産管理令ニ基キ賣却ヲ命ゼラレタル敵産ノ賣却價額ハ大藏大臣之ヲ定ムルコト

六 敵産管理法第五條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル者ハ所定ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ最寄ノ日本大使、公使、領事又ハ日本銀行ヲ經テ大藏大臣ニ提出スルヲ要スルコト  
七 大藏大臣ハ必要アルトキハ本令所定以外ノ報告ヲ徴シ又ハ本令所定ノ報告ヲ免除シ得ルコト

敵産管理委員會官制要綱

- 一 敵産管理委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ敵産管理關係法令ノ施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議スルコト
- 二 委員會ハ會長一人及委員二十五人以内ヲ以テ組織シ特別ノ必要アル場合ニハ更ニ臨時委員ヲ設ケ得ルコト
- 三 會長ハ大藏大臣トシ委員及臨時委員ハ關係各高等官及學識經驗アル者ヨリ選任スルコト
- 四 大藏大臣ハ必要アル場合ニハ委員會ニ部會ヲ設クコトヲ得ルコト

第七十八回帝國議會委員曾ニ於ケル敵產管理法案  
ニ關スル大藏大臣提案理由説明

(第七十八回帝國議會)

唯今議題トナリマシタ敵產管理法案ニ付提案理由ヲ説明致シマス。  
本年七月ノ資產凍結以降外國爲督管理法ニ基ク外國人關係取引取締  
規則即チ所謂資產凍結令ニ依リマシテ米英等諸國及此等諸國人ノ本  
邦内財産竝ニ本邦内經濟活動ニ對シ相當嚴重ナル取締ヲ實施シテ來  
タノデアリマスガ、本月八日米英ニ對シ宣戰カ布告セラレ兩國ト敵  
對關係ニ立ツコトトナリマスルヤ、取敢ヘズ此等ノ諸國人ニ對シテ  
ハ資產凍結令ニ於ケル緩和的取扱ヲ擯廢致シマスルト共ニ從來ノ爲  
督管理法ニ關スル規則及資產凍結令ニ基イテ與ヘラレマシタ許可ハ何  
レモ將來ニ向ツテ效力ヲ失フコトト致シタノデアリマス。尙宣戰布  
告ト同時ニ米英系ノ外國爲督銀行竝ニ主要商社ニ對シテハ一齊ニ檢  
査官ヲ派遣シ其ノ資產ノ調査ヲ爲サシメルト共ニ現地監督ニ當ラシ

メタノデアリマス。

此等各種ノ應急措置ハ凡テ現行ノ法規ニ基キ出來得ル限り取締ヲ強  
化セントスルノ意圖ニ出デタモノデアリマスガ、何レモ消極的取締  
ノ範圍ヲ出ナイノデアリマシテ開戰後ノ今日ノ事態ニ對處スル措置  
トシテハ猶不充ナル點ガ尠クナイト存ズルノデアリマス。即チ敵  
國側ノ財産ニ關シ必要ニ應ジ政府ニ於テ管理人ヲ選任シテ之ヲ管理  
セシムルノ外賣却命令等ノ方法ニ依リ積極的ニ之ヲ統制活用スル必  
要ガ生ズルノデアリマス。之ヲ實施致シマスガ爲ニハ從來ノ外國爲  
督管理法ノミヲ以テシテハ充分具ノ徹底ヲ期スルコトガ出來マセン  
ノテ新ニ敵產管理法ニ關スル單行法律ヲ制定スルコトヲ必要ト認メ本  
案ヲ提出致シタ次第デアリマス。

次ニ本案ノ内容ニ付其ノ要點ヲ御説明致シマス。

第一ニ政府ハ必要ニ應ジ敵國又ハ敵國人關係ノ財産ニ關シ管理人ヲ  
選任シテ之ヲ管理セシムルコトト致シタノデアリマス。即チ政府ハ

當該財産ノ所有者又ハ保管者ガ居リマセヌ場合又ハ居リマシテモ之ニ所有又ハ保管セシメ置クコトヲ不適當ト認メタ場合等ニ於キマシテハ別ニ適當ナル管理人ヲ選任シテ之ヲ管理セシメルノデアリマス。例ヘバ工場事業場等デアツテ本邦生産力ノ増強ニ資シ得ルモノハ之ヲ適當ニ管理活用シ戰時下國家目的ニ適合スル様運営致シタイト存ズルノデアリマス。

管理人ヲ選任シテ管理セシムルコトト致シマシタ場合ニハ其ノ管理ハノミガ當該財産ニ付處分其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトガ出來ルノデアリマシテ本人ハ其ノ範圍ニ於テ行爲能力ヲ奪ハルルノデアリマス。從ツテ管理財産ニ付キマシテハ其ノ旨ヲ第三者ニ知ラシメル必要ガアリマスノデ之ヲ登記又ハ登錄ヲ爲サシメルコトト致シマシタ。尙敵産ノ管理人ニ對スル報酬其ノ他ノ費用ハ管理財産ノ中ヨリ支辨セシムルコトト致シマシタ。

第二ニ政府ハ敵國又ハ敵國人關係ノ財産ニ關シ政府ノ指定スル者ニ

對スル賣却其ノ他必要ナル事項ヲ命ジ得ルコトト致シタノデアリマス。例ヘバ敵國人ガ本邦内ニ有シテ居リマヌル重要物資ハ之ヲ必要ナル方面ニ賣却セシメ又敵國人ガ本邦人ニ對シテ貸ツテ居リマヌル借入金債務ノ辨濟ヲ命ズル等ノ場合ニ此ノ權限ヲ活用致シタイト存ズルノデアリマス。

第三ニ敵國又ハ敵國人ニ對シ債務ヲ負擔スル者ガ政府ノ命令ニ從ツテ支拂等ヲ爲シマシタトキハ其ノ債務ニ付免責セラレルコトト致シタノデアリマス。外債ノ利子、株式ノ配當金、特許料等ニ關シ米英人ニ對シ支拂債務ヲ負擔スル者ハ政府ノ命ズルトコロニ從ヒマシテ例ヘバ横濱正金銀行ニ設ケラレマシタ特別ノ勸定ニ拂ヒ込ミマシレバ其ノ債務ニ付免責セラレルコトト相成ルノデアリマス。斯ノ如キ免責ノ措置ヲ講ジマヌル場合ハ開戦ニ關リ對敵債務ノ履行ガ困難トナルニ伴ヒ種々法律上ノ紛争ヲ生ズル虞ガアリマスノデ之ヲ防止致

シマスルト共ニ敵國人ノ本邦人ニ對シテ有スル債權ニ付政府ガ適切ナル統制ヲ加ヘルコトヲ容易ナラシム様トスルニ在ルデアリマス。第四ニ敵國又ハ敵國人ガ外國ニ於テ敵性ヲ免ルルガ爲ニ本邦關係財産ヲ處分致シマスルガ如キ場合其ノ行爲ニ付效力ヲ認メナイコトト致シタノデアリマス。米英人ノ所有スル本邦ノ外債ハ約十四億圓ニ上リ又米英人ノ本邦内ニ有シテ居リマスル動産、不動産、事業、營業等モ尠クナイノデアリマス。開戦ノ結果此等ノ財産ガ敵産トシテ不利ナル取扱ヲ受クルコトヲ免ルルガ爲ニ之ヲ中立國人ニ賣却スル等ノ方法ヲ購スル虞ガ多分ニアリマスノデ之ヲ防止致シマスル爲スル行爲ノ效果ヲ否認スル規定ヲ設ケタノデアリマス。尙此ノ規定ノ效力ハ之ヲ開戦當日ニ遡及セシムルコトト致シマシタ。第五ニ敵産管理ノ實施ハ其ノ關係スル所ガ廣ク、又其ノ實施ニ當リマシテ相手國ノ出方、取扱振等ニ付テモ慎重ナル注意ヲ拂フ必要ガアリマスノデ關係各省ノ關係官ヲ以テ組織スル委員會ヲ設置シ重要事項ハ右ノ

委員會ニ諮ツテ之ヲ決定シ運營ノ圓滑ヲ期シテ行キ度イト存ジテ居リマス。敵産管理ノ目的ハ最初ニ申述セマシタル通りデササセガ、其ノ運用ハ飽ク迄相互的ナ考慮ヲ以テ臨ミ、敵國私人ノ財産ニ付キマシテハ私權尊重ノ建前ヨリ相手國ガ本邦側財産ニ對シ暴戾ナル態度ニ出デナイ限り沒收等ノ如キ事柄ハ之ヲ致サナイ考デアリマス。以上ノ理由ニ依リマシテ茲ニ本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス何卒速ニ御贊成アラシコトヲ希望致シマス。



主信	1	5	6
甲			
乙			
丙			
丁			
備考			

發信用執務用

木 〇 儀典課長

東亞局長  
 歐亞局長  
 亞米利加局長  
 條約局長  
 情報部長  
 文化事業部長  
 調查部長  
 人事部長  
 會計課長  
 電信課長  
 翻譯課長  
 通商局第一課長  
 通商局第二課長  
 通商局第三課長

規則ノ適用ヲ受ケル者ハ為財産ノ處分ニ付キ一々前記取締規則ニ基キ許可ヲ要ス處前記職員中ハ生活費支弁ノ為預金ノ引出或ハ家具ノ賣却ヲ必要トシ又ハ引揚準備ノ為自動車等私有財産ノ賣却ヲ希望シ預金引出或ハ私有財産賣却ニ關シ外務省ノ好意的斡旋ヲ依頼シ越ス

在公館職員ノ財産處分ニ關シテハ五階慣例ニ依リ一般取扱私人員ノ取扱ヲ為スヲ適當トスノミナラズ相互主義ニ

(日本標準規格 B5)

文書課長

文書課發送 昭利十七年三月廿八日發給済 淨書 (原稿) 山本 淨書

正校 (原稿) 昭利十七年一月十七日起草

主 通商局長 刺任事務官 (主) 通商局總務課長

通總 機普 第 〇 號 昭利十七年三月廿八日 日附 附屬

受 信 人 名 大庭 有 原口 為替 高 長

發 信 人 名 水野 通高 高 長

記 録 件 名 敵國及國交斷絶國公館職員私有財産處分ニ關スル件

在在邦 敵國及五交斷絶國公館職員ハ其私有財産ニ關シ敵國管理法或ハ外五人關係取引取締

28 86



其キ簡易的取扱ヲ與スルヲ至ホト思フセラル。其  
 既ノ条件ニ關シ  
 左記便宜的措置ヲ講ジタキニ付貴省ノ承認ヲ  
 得タリ此段申進ス

記

一、英米及蘭西公館職員ニ關シ

外務省カ派遣シ居連絡員ヲシテ事實上ノ敵産  
 管理人トシテ其ヲシテ預金ノ引出、財産ノ処分等債  
 權債務ニ關シ諸力ヲ代理セシメ在連絡員ノ力ニ  
 依リテ其ノ事務ヲ行フ

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

敵産管理方法及外人関係取引取締規則ノ適用  
 用ヲ一切免除スルコト

右連絡員ハ外務省主管課長ノ指揮監督ヲ受ケ  
 行動中前記債權債務ニ關シ目錄ヲ作成シ大體  
 者ニ報告スルコト

二、五文断絶ニ公館職員ニ關シ

前記一、同様外務省派遣連絡員ヲシテ財産ニ  
 關シ諸行為ヲ代理セシメ之ニ對シ外人関係取引取

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

發信用執務用			
主信	夕	/	第8
附	甲	乙	丙
屬	丁		
備考			

東亞一課  
通商三課  
長岡事務  
通六  
永井事務

公文書	案	三夕三付 参考送 送付又
公	信	案
外	務	省
<p>主 文書課發送昭和七年貳月參日 發送済 淨書 正校(原稿) (淨書)</p> <p>通商三課 主任 通商一課長 昭和十六年一月十二日起草</p> <p>在滿大使 在南京大使 在上海總領事 在北京土田事務 在天津總領事 在仰光大使</p> <p>外務大臣</p> <p>敵産管理(法適用方針等) 二案二件</p> <p>政府に於て舊敵産管理法を公布實施せしむるに關し 敵産管理 敵産管理 三基の(委員)會中一會合催し別紙</p> <p>通り管理法運用方針及敵産處理方針決定</p>		

文書課長



別紙

東 17.1.14

3 75

公 信 案

外 務 省

締規則適用ヲ免除スルヲト

連絡員が其代理の債権債務行為の目録ヲ作成

シ大藏省に報告スルヲ前記ニ依リ

三、連絡員が諸行為ヲ為スニ當リテハ外務省主管課ハ事

前二大藏省主管課ト充分連絡シ置ク事ト

(日本標準規格B5)



敵産管理法運用方針ニ關スル件

第一 敵産管理人關係

一、敵産管理人ヲ選任シテ管理セシムル敵産

(1) 法人ノ財産

(2) 個人ノ財産ノ内所有者若ハ保管者ノ在ラザルモノ又ハ所有者若ハ保管者ノ不適當ナルモノ

(3) 本邦法人ニ對スル株主權其ノ他ノ出資

二、敵産管理人選任ノ標準

(1) 法人ノ財産ニ付テハ左ノ者トスルコト

(a) 當該法人ト同種又ハ類以ノ事業又ハ營業ヲ目的トスル本邦法人ニシテ適當ナリト認メラルモノ

(b) 當該法人ノ役員又ハ使用人中適當ナリト認メラル本邦人

(c) 人物及經歷ニ鑑ミ適當ナリト認メラル本邦人

保管者ノ不適當ナルモノ  
放棄人ノ所有又ハ保管セザルモノ不適當  
トスルコト

個人ノ財産ニ付テハ成ルベク當該財産ノ所在マル地域ニ住所ヲ有スル確實ニシテ信用アル者例ヘバ信託會社等

本邦法人ニ對スル株主權其ノ他ノ出資ニ付テハ原則トシテ信託會社

三、敵産管理人ノ選任手續

敵産ガ事業又ハ營業ナル場合ハ其ノ業務ヲ監督スル官廳及内務省ト其ノ他ノ場合ハ内務省ト協議シ敵産管理人候補者ヲ選定シ敵産管理率員會ニ諮リ之ヲ決定スルコト

四、敵産管理人ニ對スル報酬ノ決定

管理財産ノ内容、管理行爲ノ内容及其ノ難易並ニ管理人ノ地位、閱歴及職業等ヲ勘案シ必要ニ依リ敵産管理委員會ニ諮リ之ヲ決定スルコト

第二 敵産ノ種類別處理方針

事業又ハ營業

- (一) 本邦戰爭經濟運營上本邦側ニ於テ積極的ニ之ガ維持擴充ヲ圖ルノ要アルモノ例ヘバ重要製造工業等ハ必要ニ依リ該事業、營業ニ付政府ノ指定スルモノニ對スル賣却、賃貸、經營ノ委託又ハ當該事業、營業ニ對スル敵國人出資ニ付其ノ賣却ヲ命ズル等之ヲ本邦側ノ資本又ハ經營ニ移スノ措置ヲ講ズルコト
- (二) 現狀ノ備存積セシムルヲ適當ト認メラルモノ例ヘバ不動産ノ保有賃貸業等ニ付テハ政府ニ於テ適當ニ運營セシメル様統制スルコト
- (三) 在積セシムルノ要ナキモノ
- (四) 及(三)ニ該當セザル事業又ハ營業例ヘバ銀行業、保險業、貿易業等ハ原則トシテ之ヲ清算セシムルコト
- (五) 清算ニ當リテハ
- (1) 商品及機械設備ニシテ重要ナルモノハ政府ノ指定スル者ニ譲渡

ヒシムル等我方ニ確保スルノ措置ヲ講ズルコト

(四) 債務ノ辨濟ニ當リテハ本邦側ニ對スル債權又ハ敵國人ニ對スル債務ニシテ該債權者ガ本邦側ニ對スル債權ノ辨濟ノ爲若ハ其ノ

事業營業ノ運營上其ノ履行ヲ必要トスルモノハ其ノ限度ニ於テ

敵國人ニ對スル債務ニ優先ヒシヨ中立國人ニ對スル債務ニ付テハ適當考慮スルコト

尙辨濟資金調達ノ爲ニスル財産ノ換價處分ニ付テハ(ハ)ヲ勘案シ

適當措置スルコト

殘餘財産ハ預金、有價證券等管理ノ尤モ容易ナル形態ニ於テ保

有ヒシメ預金ハ政府ノ指定スル特別ノ勘定ニ預入ヒシメ有價證券等ハ銀行又ハ信託會社ニ保管ヒシムルコト

三、事業又ハ營業以外ノ財産

(一) 本邦人ノ在外敵國人ニ對スル債務ニ付テハ金錢債權ニ在リテハ原則トシテ政府ノ指定スル特別ノ勘定ニ支拂ハシメ物ノ引渡債務ニ

在リテハ各物資統制會社又ハ貿易組合等政府、指定スル者ニ其ノ  
物ヲ引渡サシムルコト  
其、他ノ財産ニシテ官理人ナシテ管理セシムルモノハ概テ前項  
三前二項ニ定ムルトコロノ措置ハ必要ニ應ジ關係官廳ト緊密ナル連絡  
ヲトリ管理人ニ對スル指示ハ該管理法第二條ノ規定ニ依ル積極命令  
又ハ外國人關係取引取締規則ノ運用ニ依リ之ヲ實行スルコト  
四一、四及三、四、政府ノ指定スル特別ノ勸定ハ橫濱正金銀行ニ之ヲ  
設ケ其ノ資金ノ運用方法及運利利益ノ處分等ニ付テハ政府ノ指示ニ  
從ハシムルコト

第三 外國人關係取引取締規則ノ制限免除  
敵産ニ關スル敵産管理人ノ行為及敵産管理人ヲ相手方トスル行為ハ  
何レモ外國人關係取引取締規則ノ規定ニ依リ許可ヲ受クルヲ要スル  
敵産管理人ハ政府ノ嚴重ナル指揮監督ヲ受クルヲ以テ之ヲ相手方  
トスル行為ハ一般許可ヲ以テ同規則ニ依ル制限ヲ免除シ敵産管理人  
ノ行為ニ付テモ包括許可等ノ方法ニ依リ敵産ノ管理統制上支障ナキ  
限リ事務ノ簡易化ヲ圖ルコト

極秘

通一極秘令第七一號

昭和十七年二月三日

外務大臣 東 郷 茂 徳

宛先ハ末尾記載ノ通り

敵産管理法運用方針等ニ關スル件

政府ニ於テハ前掲敵産管理法ヲ公布實施セル處右ニ基ク敵産管理委員會第一回會合ニ於テ別紙ノ通り管理法運用方針及敵産處理方針決定ヲ見タルニ付御奉考進呈ニ送付ス

本個送付先 在滿、南京（大）、上海、北京（大）、天津、

御印（大）、「ダイ」

別紙添附

(日本標準規格B5)

外務省

敵産管理法運用方針ニ關スル件

第一 敵産管理人關係

一 敵産管理人ヲ選任シテ管理セシムル敵産

(一) 法人ノ財産

(二) 個人ノ財産ノ内所有者若ハ保管者ノ在ラサルモノ又ハ所有者若ハ保管者ノ不適當ナルモノ（敵國人ニ所有又ハ保管セシムルヲ不適當トスルモノヲ含ム）

(三) 本邦法人ニ對スル株主權其ノ他ノ出資

二 敵産管理人選任ノ標準

(一) 法人ノ財産ニ付テハ左ノ者トスルコト

(イ) 當該法人ト同種又ハ類似ノ事業又ハ營業ヲ目的トスル本邦法人ニシテ適當ナリト認メラルモノ

(ロ) 當該法人ノ役員又ハ使用人申適當ナリト認メラル本邦人

(ハ) 人物及經歷ニ鑑ミ適當ナリト認メラル本邦人

(日本標準規格B5)

外務省

(一) 個人ノ財産ニ付テハ成ルベク當該財産ノ所在スル地域ニ住所ヲ有スル確實ニシテ信用アル者例ヘバ信託會社等  
 (二) 本邦法人ニ對スル株主權其ノ他ノ出資ニ付テハ原則トシテ信託會社  
 一 破産管理人ノ選任手續  
 破産ガ事業又ハ營業ナル場合ハ其ノ業務ヲ監督スル官廳及内務省ト其ノ他ノ場合ハ内務省ト協議シ破産管理人候補者ヲ選定シ破産管理委員會ニ諮リ之ヲ決定スルコト  
 一 破産管理人ニ對スル報酬ノ決定  
 管理財産ノ内容、管理行爲ノ内容及其ノ難易故ニ管理人ノ地位、閱歴及職業等ヲ勘案シ必要ニ依リ破産管理委員會ニ諮リ之ヲ決定スルコト

外務省

(日本標準規格B5)

第二 破産ノ種類別處理方針  
 一 事業又ハ營業  
 (一) 本邦戰爭經濟運営上本邦側ニ於テ積極的ニ之カ維持擴充ヲ圖ルノ要アルモノ例ヘハ重要製造工業等ハ必要ニ依リ該事業、營業ニ付政府ノ指定スルモノニ賣スル賣却、賃貸、經營ノ委託又ハ當該事業、營業ニ對スル破産人出資ニ付其ノ賣却ヲ命スル等之ヲ本邦側ノ資本又ハ經營ニ移スノ措置ヲ講スルコト  
 (二) 現状ノ儘存続セシムルヲ適當ト認メラルモノ例ヘハ不動産ノ保有賃貸業等ニ付テハ政府ニ於テ適當ニ運営セシメル機軸制スルコト  
 (三) 存続セシムル要ナキモノ  
 (一) 及(二)ニ該當セサル事業又ハ營業例ヘハ銀行業、保險業、貿易業等ハ原則トシテ之ヲ清算セシムルコト  
 清算ニ當リテハ

外務省

(日本標準規格B5)



(イ) 商品及機械設備ニシテ重要ナルモノハ政府ノ指定スル者ニ譲渡セシムル等我方ニ確保スルノ措置ヲ講スルコト

(ロ) 債務ノ辨濟ニ當リテハ本邦側ニ對スル債務又ハ敵國人ニ對スル債務ニシテ該債權者カ本邦側ニ對スル債務ノ辨濟ノ爲若ハ其ノ專業營業ノ運営上其ノ履行ヲ必要トスルモノハ其ノ限度ニ於テ敵國人ニ對スル債務ニ優先セシメ中立國人ニ對スル債務ニ付テハ適當考慮スルコト

尙辨濟資金調達ノ爲ニスル財産ノ換價處分ニ付テハ(ハ)ヲ勸案シ適當措置スルコト

(ハ) 殘餘財産ハ預金、有價證券等管理ノ尤モ容易ナル形態ニ於テ保有セシメ預金ハ政府ノ指定スル特別ノ勘定ニ預入セシメ有價證券等ハ銀行又ハ信託會社ニ保管セシムルコト

ニ專業又ハ營業以外ノ財産

(一) 本邦人ノ在外敵國人ニ對スル債務ニ付テハ金銭債務ニ在リテハ

外務省

(日本標準規格B5)

原則トシテ政府ノ指定スル特別ノ勘定ニ支拂ハシメ物ノ引渡債務ニ在リテハ各物資統制會社又ハ貿易組合等政府ノ指定スル者ニ其ノ物ヲ引渡サシムルコト

(二) 其ノ他ノ財産ニシテ管理人ヲシテ管理セシムルモノハ概ネ前項ノ(三)ノ(四)及(ハ)ニ準シ其ノ財産ヲ整理セシムルコト

前二項ニ定ムルトコロノ措置ハ必要ニ應シ關係官廳ト緊密ナル連絡ヲトリ管理人ニ對スル指示敵産管理法第二條ノ規定ニ依ル積極命令又ハ外國人關係取引取締規則ノ運用ニ依リ之ヲ實行スルコト

一ノ(三)及二ノ(一)ノ政府ノ指定スル特別ノ勘定ハ横濱正金銀行ニ之ヲ設ケ其ノ資金ノ運用方法及運用利益ノ處分等ニ付テハ政府ノ指示ニ從ハシムルコト

外務省

(日本標準規格B5)

第三 外國人關係取引取締規則ノ制限免除  
敵産ニ關スル敵産管理人ノ行爲及敵産管理人ヲ相手方トスル行爲  
ハ何レモ外國人關係取引取締規則ノ規定ニ依リ許可ヲ受クルヲ要  
スル處敵産管理人ハ政府ノ嚴重ナル指揮監督ヲ受クルヲ以テ之ヲ  
相手方トスル行爲ハ一般許可ヲ以テ同規則ニ依ル制限ヲ免除シ敵  
産管理人ノ行爲ニ付テ是包括許可等ノ方法ニ依リ敵産ノ管理統制  
上支障ナキ限り事務ノ簡易化ヲ圖ルコト。

外  
務  
省

(日本標準規格B5)

秘

九三九三 路 十七 三 十三 後七

在西班牙 須磨公使

東郷外務大臣

外交官ノ私有財産處分ニ關スル件

第一〇一號 大至急

貴電第一九五號ニ關シ

左記米國政府ニ通報方責任國政府ニ御依頼相成度

一、帝國政府へ開戦後在日米國公館員ノ公私有財産ニ關シ一設ニ好

意的ニ措置シ特ニ左ノ如キ寛大ナル取扱ヲ爲セリ

(1) 公私金預金ノ引出許可

(2) 公私有財産(特ニ自動車)ノ賣却許可

電信寫

(3) 右財産ノ賣上金ノ預金引出許可

(4) 開戦當時公館員カ所有シ居リタル公私金預金へ公館員又ハ利

益代表ヲシテ自由ニ使用セシメ居レリ

ニ右取扱へ國ヨリ互惠的精神ニ基クモノナレハ帝國政府ハ米國政

府カ在米日本公館員ニ對シ右ト同様ノ取扱ヲ爲スコトヲ期待ス

ルト共ニ特ニ米國政府カ

(1) 貴電第一五〇號ノ利益代表ニ引渡サレタル日本國公金ハ利益

代表ヲシテ自由ニ使用セシムルコト

(2) 吾年貴電第二一五號ノ米村大使來電第六號ノ我方申入ヲ全

部認ムルコト

(3) 貴電第一九五號第四項ノ個人ノ手持現金ノ申告ヲ求メサレコ

秘

電信寫

ノ三蛇ヲ希望ス

三帝國政府ハ米國 政府カ同様取扱ヲ承認スルニ於テハ在日米國公  
 館員カ公私金預金及財産賣上金ヲ公私ノ諸費用（引揚ノ際ノ持  
 歸金三百弗ヲ含ム）ニ充當シタル後殘金ヲ一括利益代表ニ引渡  
 シ利益代表カ之ヲ利益代表事務ニ使用スルコトニ異存ナシ

通譯局長 第七五號

昭和十七年三月二十六日

昭和十七年三月廿六日

17.3.27

大日本帝國政府

外務省通商局長 水野 伊太郎 殿

大藏省爲替局長 原 口 武



今次大東西戰爭勃發以來本邦内所在ノ敵産ニ對シテハ銳意之ガ調査  
 ナシメ來タリ候處最近敵國人中ヨリノ説明ニ依レバ自己ノ私有財産  
 ナ自國ノ領事館ニ寄託シ以テ財産ノ保全ヲ圖リ居レル者アル概ニ有  
 之候ニ付テハ貴官ニ於テ同財産ヲ適當御調査ノ上至急御回報相煩度  
 此段及御依頼候

追而本件ニ付テハ英系ノ大使館ニ付テモ適當御調査相煩度

宮崎公使  
 信與謀兵  
 栗利加爲等

要再回

通一日白

外機密

電信寫

電報本 四月八日午後 本、致

本 答 九日午後

外務大臣

千葉公使

第二九八號

(敵産處理方針ニ關スル件)

電報第一六號ニ關シ

其ノ後開切セル所ニ依レハ歐洲ニ於テ露印ノ石油株買占アリタル  
處ノ處百領往來車敵國人ノ計畫ニ對スル御方針御差支ナキ限リ  
奉使心得迄ニ御回電ヲ請フ(了)

記

電信寫

A-7-2  
A7009-~~4~~2

五月一日  
五月二日  
五月三日  
五月四日  
五月五日  
五月六日  
五月七日  
五月八日  
五月九日  
五月十日  
五月十一日  
五月十二日  
五月十三日  
五月十四日  
五月十五日  
五月十六日  
五月十七日  
五月十八日  
五月十九日  
五月二十日  
五月二十一日  
五月二十二日  
五月二十三日  
五月二十四日  
五月二十五日  
五月二十六日  
五月二十七日  
五月二十八日  
五月二十九日  
五月三十日  
五月三十一日

記帳簿

手ニアル英軍捕虜ノ保護ニ當ツテ居ル國際赤十字社ノ人員カ殆ト  
全部瑞西人ニ依リ構成サンテ居ル事實ニ基クモノデアル(了)

五月一日  
五月二日  
五月三日  
五月四日  
五月五日  
五月六日  
五月七日  
五月八日  
五月九日  
五月十日  
五月十一日  
五月十二日  
五月十三日  
五月十四日  
五月十五日  
五月十六日  
五月十七日  
五月十八日  
五月十九日  
五月二十日  
五月二十一日  
五月二十二日  
五月二十三日  
五月二十四日  
五月二十五日  
五月二十六日  
五月二十七日  
五月二十八日  
五月二十九日  
五月三十日  
五月三十一日

*James Augustus Danielsen*

P. M.

The American Mission in Manchoukuo used to have compounds with summer bungalows in Korea at Sorai Beach and at Kennel Beach. In these compounds some of the lots are owned by Danish missionaries, for instance:

1. At Sorai Beach (The Sorai Beach Company, Tumipu (or Komipu) Beach, Changan Province, Korea.)

Dr. P. N. Pedersen, .....	Lot No. 35.	✓
Miss Elise Rahson, .....	" " 27.	✓
Rev. V. Primer-Larsen, .....	" " 57.	✓
Rev. A. B. Christensen, .....	" " 101.	✓
Rev. Johannes Rasmussen, .....	" " 34.	✓

2. At Kennel Beach (Kahinpo Beach Association, Kojo District, Kogen Province, Korea.)

as follows:

Miss Kathrine Nielsen, .....	Lot No. 23.	✓
Mr. Kaj Olsen, .....	" " 60.	✓
Rev. Alfred Hansen, .....	" " 49.	✓

Since the outbreak of the Greater East Asia War the Danish missionaries have not visited their summer houses and they are now anxious to know in what state they are. Also, in case the properties of the American Mission have been taken under enemy custody they would be grateful to know what steps they have to take in order to reserve their property rights.

The Royal Danish Legation would appreciate it very much if the Imperial Ministry of Foreign Affairs would be good enough to offer its kind assistance in obtaining the information requested by the Danish missionaries.

Tokyo, 8th February 1943.

Handwritten notes and signatures at the bottom of the document, including "No. 3" and "1943".

(譯文)

覚

滿洲國在留米國敎團ハ從前朝鮮ソライ海岸及縣收  
海岸ニ夏別莊用ノ区劃ヲ有シ居リタリ。之等ノ区劃ハ丁  
採人宣敎師所有ノ地所アリ、例ハバ

ソライ海岸(朝鮮黃海道長淵郡大牧面ソライ海濱  
會社)ニ於テ左ノ丁採人宣敎師在ノ地所ヲ所有ス

「ロビ.エヌ.ピ.ゲ.ヒン」博士

オ三五号

「エリス.バーンソン」嬢

オ二七号

「ウィ.フリモリラー」嬢

オ五七号

「エイ.ビー.クリスツン」嬢

オ一〇一号

「エハネス.ラス.ミューセン」師

オ三四号

ニ縣收海岸(朝鮮江原道高城郡「カヒン」海濱組合ニ

外務省

(日本標準規格B5)

於テハ左ノ通

「カスリン.ニールセン」嬢

オ二ニ号

「カイ.オルセン」氏

オ六〇号

「アルフレッド.ハンセン」師

オ四九号

大東亞戰爭勃発以來丁採人宣敎師等ハ其ノ夏別莊  
ニ赴カザル爲右別莊が現在如何ナル状態ニアルヤヲ知り度ク  
希望シ居レリ。又米國敎團ノ財産ガ敵産管理ニ付セラシ居ル  
ニ於テハ丁採人宣敎師等ハ其ノ財産權ヲ保全スル爲如何テ  
ルヲ統ヲ執ルベキヤヲ知り得ル事甚ニ存スベシ。  
丁採公使館ハ帝國外務省ニ於テ丁採人宣敎師等ノ切  
望シ居ル情報ヲ供與スル爲御援助ヲ賜ラバ幸甚ニ存ス。

一九四三年二月八日

東京ニ於テ

外務省

(日本標準規格B5)





文書課長

條約局

28th May 1943.

Dear Mr Andersen

I have duly received a Pro-Memoria of your Legation dated the 8th February last. The matter has been transmitted to the Ministry concerned for inquiry, and I am now informed that a reply has been received from the authorities on the spot to the following effect:-

1. As the bungalows in question had been registered in the name of a citizen of an enemy country, they were all placed under Government custody as enemy property. The roofs of some bungalows are so badly damaged that it is feared that the rain may leak through them. The furniture and fixtures therein are mostly in good condition, but some of them have been smeared by rain-leaks.

2. In order to obtain recovery of the property, the owner must file a written application <sup>with</sup> to the Government-General of Tyōsen, attaching thereto a document

showing

- 2 -

showing the ownership, ~~of the property~~ and must pay at the same time the rates and taxes, ground rent, and the expense of custody.

I shall in due course of time communicate to you again further particulars which it is expected I shall receive from the authorities concerned.

Yours sincerely,

Director of the Treaty Bureau.

Monsieur A.B. Andersen,

Chargé d'Affaires of Denmark,

Tokyo.

J.No.6.X.1.



Tokyo, the 20th May, 1943.

Dear Mr. Ando,

I have received your letter of yesterday's date and thank you very much for the information given therein as to the bungalows in Työsen belonging to Danish missionaries.

Yours sincerely,

*Boge Andersen*

Mr. Y. Ando,  
Director of the Treaty Bureau,  
The Gaimusho.

陸

大日本帝國政府

條約局長  
菅民第三四五號

昭和十八年五月二十六日

內務省管理局長 竹 內 德

外務省條約局長 殿

丁 抹人宣教師所有土地建物ニ關シ照會ノ件  
二月十五日附條二普通第三二號ヲ以テ當省次官宛照會ニ係ル首題ノ  
件五月十八日不取敢電話ヲ以テ概況回報置ノ通ナルガ本日別紙寫ノ  
詳報送付越セルニ付可然御取計相成度



昭和十八年五月廿七日接受

條二  
18.5.27  
受付

大日本帝國政府

昭和十八年五月十九日

朝鮮總督府 司 政 局 長

內務省管理局長 殿

丁 抹人宣教師所有土地建物ニ關スル件

三月二十五日附管民第三四五號御照會ノ首題ノ件ニ關シ調査ノ結果  
十應電報シ置キタル通該丁抹人所有ノ建物ハ形式上敵國人ノ名義ト  
ナリ居ル爲現在全部敵産管理ニ附セラレ居リ其ノ現狀左記ノ通ニシ  
テ該建物ノ敷地ハ國有又ハ其ノ他ノ民有ニシテ丁抹人名義ノモノナ  
キ處該財産ヲ自己ノ所有ナリトシテ引渡ヲ受ケント欲セバ自己所有

大日本帝國政府

タルコトヲ立證スルニ足ル權利證書ヲ添附シ、財産引渡願ヲ當府ニ提出スルト共ニ、税金、土地使用料、管理費用（全額ハ引渡願提出ノ際計算明示ス）等支拂ヲ要スルニ付御了知ノ上可然御取計相成度此段回報ス

貳

一 ビーダーセン博士所有ノモノ（第三五號）

木造瓦葺二階造ナルモ瓦破損シ雨漏アリ雨季前ニ修理ヲ要ス。ペンキ塗替セザレバ腐朽セントスル虞アリ。内部ニハ鐵製及木製ノ寢臺各一個宛アリ椅子テーブル及炊事道具等比較的良ク保管セラレ扉及窓ハ嚴重ニ釘セラレアリ。  
ニ ラスミユツセン所有ノモノ（第三四號）

大日本帝國政府

木造スレート葺ナルモスレート破損シ脱落ノ箇所アリテ雨漏ノ虞アリ扉及窓ハ釘付ニセラレアルモ屋根ノ修理ヲ行ハザレバ内部腐朽スル見込ナリ内容動産ハ寢臺四箇（内鐵製二箇）敷床椅子テーブル炊事道具等完全ニ保管サル。

ニ クリスツンセン所有ノモノ（第一〇一號）

木造代用スレート葺風雨ノ爲屋根破損シ特ニ南西ノ部分ハ殆ト吹飛ビ雨漏甚シ本雨季前ニ大修理ヲ要ス。扉及窓ハ釘付セラレアルモ敷床椅子床板等ハ雨水ノ爲汚辱甚シ鐵製寢臺二箇木製一箇アリ。

四 フリトマリラーセン所有ノモノ（第七五號）

木造トタン葺屋根完全ニシテ現在雨漏ノ箇所ナン扉及窓ハ釘付

大日本帝國政府

ニセラレアリ内部動産ハ鐵製寢臺二箇木製一箇冷凍器敷床椅子  
テーブル等完全ニ保管セラル

五バーンソン所有ノモノ（第二七號）

木造トタン<sup>葺</sup>葺屋根完全ニシテ雨漏ノ虞ナシ扉及窓ハ釘付セラレ

鐵製寢臺二箇椅子テーブル炊事道具等アリ

六カスリンニールセン所有ノモノ（第二三號）

七カイオルセン所有ノモノ（第六〇號）

ハアルフレツドハンセン所有ノモノ（第四九號）

以上三名ノ所有ノモノハ室内品ノ現況不明ナルモ外部ノ狀況ハ

異狀ナシ

附記

大日本帝國政府

以上ノ外黃海道長淵郡大救面九味浦（所謂ソライ海濱）ニ丁抹人所  
有（氏名不詳）ト認メラルル建物（第二〇號）アリ木造トタン<sup>葺</sup>葺屋  
根完全ニシテ雨漏ナク扉及窓ハ釘付セラレ内容ノ家具寢臺等完全ニ  
保管セラレアリ。

SWEDISH LEGATION

DM. X.S. C. 3-20

A-II-90

Note Verbale.

在敵國居留民關係事務

The Swedish Legation have the honour to inform the Imperial Ministry of Foreign Affairs that the offices of the Neutral Committee of the International Y.I.C.A. which are at present located within the Legation at 22 Nishinachi, Azabu-ku, Tokyo, owing to lack of space must be removed to new quarters.

The Neutral Committee of the International Y.I.C.A. is performing their humanitarian work of providing for the mental and physical recreation not only for the prisoners of war in Japan but also for the Japanese civilian internees in America and Canada, for whom a number of Japanese books, games, writing materials etc. have already been purchased.

The Legation would propose to utilize house No. 3 of the former Netherlands Legation for the above purpose and, as the consent of the Netherlands Government has already in principle been obtained, it is hoped that the necessary permission would also be granted by the authorities concerned. The intended removal does not affect the servants' quarters attached to house No. 3 and would only involve the use of rooms now unoccupied.

Tokyo, May 31st, 1943.

The Imperial Ministry of Foreign Affairs,  
T O K Y O .



記録

後 基 礎 課

SW  
 文書管理受領  
 瑞國公使館： 納 5月31日  
 前知蘭公使館三號館より瑞  
 Y.M.C.A.より使用許可申請書1件

A-II-90

Note Verbale.

The Swedish Legation have the honour to inform the Imperial Ministry of Foreign Affairs that the offices of the Neutral Committee of the International Y.I.C.A. which are at Present located within the Legation at 22 Nishinachi, Azabu-ku, Tokyo, owing to lack of space must be removed to new quarters.

The Neutral Committee of the International YMCA is performing their humanitarian work of providing for the mental and physical recreation not only for the prisoners of war in Japan but also for the Japanese civilian internees in America and Canada, for whom a number of Japanese books, games, writing materials etc. have already been purchased.

The Legation would propose to utilize house No. 3 of the former Netherlands Legation for the above purpose and, as the consent of the Netherlands Government has already in principle been obtained, it is hoped that the necessary permission would also be granted by the authorities concerned. The intended removal does not affect the servants' quarters attached to house No. 3 and would only involve the use of rooms now unoccupied.

Tokyo, May 31st, 1945.

The Imperial Ministry of Foreign Affairs,  
 Tokyo.



記録係

在歐國居留民間保護委員

後基徳山



公
信
案
外
務
省

(以下別紙) (四)

光榮ヲ有ス

ニ同合セ置キタルニシテ今般現地ニリテ在ルモノノ如キ報

告持到セル旨通報アリタルヲ以テ右回報スルノ

(J.No. 6.X.1.) ヲ以テ照會アリタル件ニ関シ関係官廳

(日本標準規格 B5)

發信用執務用			
主信	/	/	2
附	甲		
	乙		
屬	丙		
	丁		
備考			

懸案

要案

添付

文書課發送日 昭和十八年六月八日	文書課長
主 條約局長	管 條約局長
住 條約局第三課長	主 條約局長
昭和十八年六月八日	昭和十八年六月八日
附 附屬ナシ	附 附屬ナシ
淨書 (原稿)	淨書 (原稿)
正校 (原稿)	正校 (原稿)
附屬ナシ	附屬ナシ
名件録記	名件録記
先付送寫	先付送寫
名 件	名 件
帝國外務省	帝國外務省
丁抹人宣教師所有土地建物ニ関スル件	丁抹人宣教師所有土地建物ニ関スル件
以上書	以上書
3	10
名 人 信 受	名 人 信 受
東京	東京
丁抹公使館	丁抹公使館
名 人 信 發	名 人 信 發
帝國外務省	帝國外務省

(日本標準規格 B5)

條三  
18.5.28  
付

Note Verbale.

The Royal Danish Legation have received the Gaimusho's Note Verbale No. 10/T2 dated the 3rd instant and have the honour to thank the Imperial Ministry for the information given therein as to the bungalows in Tyosen belonging to Danish Missionaries.

Tokyo, the 11th June, 1943.



條約局長

條約局長課長

Handwritten signature or initials.



W6 10/10  
Translation.

文書課長  
印

第二課長  
印

Note Verbale.

With reference to the Pro-Memoria J.No.6.X.1. of the Royal Danish Legation in Tokyo dated the 8th February last, the Imperial Japanese Ministry of Foreign Affairs has the honour to inform the Legation that the matter has been transmitted to the Ministry concerned and the Ministry of Foreign Affairs is informed that a report has been received from the authorities on the spot to the following effect:-

Owing to the fact that the bungalows owned by the Danish subjects in question were registered in the names of citizens of an enemy country, they are all placed under Government custody as enemy property. The present condition of the bungalows is described below. The land on which they stand is owned by the Government or private individuals, and no part thereof belongs to a Danish subject. Should any Danish subject claim the ownership of the property and desire to recover it, he must file a written application

with

- 2 -

with the Government-General of Työsen, attaching thereto a document showing the ownership, and must pay the rates and taxes, ground rent, and the expense of custody. The amount of money to be paid will be intimated to him at the filing of the application.

(1) Lot No. 35 owned by Dr P.N. Pedersen.

A wooden two-storied bungalow roofed with tiles. As tiles are broken and the rain leaks through the roof, it needs repair before the rainy season sets in. The outside of the building is in danger of decay unless repainted. In the bungalow, there are an iron bedstead, a wooden bedstead, chairs, tables, and kitchen utensils in a fairly good condition. Doors and windows are tightly nailed up.

(2) Lot No. 34 owned by Rev. Johannes Rasmussen.

A wooden bungalow roofed with slates. Some slates being broken or fallen off, it is feared that the rain will leak. Although the doors and windows are nailed, the interior may decay unless the roof is repaired.

Four

Four bedsteads (two being iron-made), matts, chairs, tables, and kitchen utensils are in good condition.

(3) Lot No. 101 owned by Rev. A.B. Christensen

A wooden bungalow roofed with synthetic slate.

The roof being damaged by rain and wind, especially in the south-western side where the roof is almost completely blown off, causing a heavy rain-leak. Prior to the rainy season, a thorough repair is necessary. Doors and windows nailed. Matts, chairs and floor-boards have been considerably smeared by rain-leaks. There are two iron and one wooden bedsteads.

(4) Lot No. <sup>75</sup>~~67~~ owned by Rev. V. Frimer-Larsen

A wooden bungalow roofed with galvanized iron sheets.

The roof being in good condition, there is no rain-leak at present. Doors and windows are nailed. In the building there are two iron and one wooden bedsteads, a refrigerator, matts, chairs, and tables in good condition.

(5) Lot No. 27 owned by Miss Elise Bahnson

A wooden bungalow roofed with galvanized iron sheets.

The

The roof being in good condition, there is no fear of rain-leak. Doors and windows are nailed. Two iron bedsteads, chairs, tables, and kitchen utensils are in good condition.

(6) Lot No. 23 owned by Miss Katherine Nielsen.

(7) Lot No. 60 owned by Mr Kaj Olsen.

(8) Lot No. 49 owned by Rev. Alfred Hansen.

The condition of articles in these three bungalows is unknown, but the outside appearance <sup>is</sup> good.

Note: Besides the above-mentioned, there is one bungalow (Lot No.20) situated at Kumipo, Taikyū-men Tyōsen-gun, Kōkai Province, (called "Sōrai Beach"), which is presumed to be owned by an unknown Danish subject. It is a wooden bungalow roofed with galvanized iron sheets. The roof being in good condition, there is no rain-leak. The doors and windows are nailed, and the furniture is in good condition.

3rd June, 1943.

公 信 案

外 務 省

三十一日附の上書ヲ以テ國際基督教青年會中  
 主委員事務此トシテ舊和蘭公使館第三號建  
 物使用方ニ對スル帝國政府ノ同意要請越一次ヲ  
 了承シ帝國政府於ハ遺憾ナク本件使用ニ同意  
 シ難キ旨茲ニ同公使館ニ回答スルノ先案ヲ有ス

L

(日本標準規格 B5)

發信用執務用		懸案	
主信	甲	乙	丙
附	乙	丙	丁
局			
備考	VAIV-29		

政務局長  
 通商局長  
 通商局第...  
 條約局長  
 條約局第...  
 要審譯文

文書課長

文書課發送日 昭和拾八年六月拾貳日發送済

主 在敵國居留民關係事務室

居 普通 第 廿九 號

昭 和 曆 拾 八 年 六 月 拾 貳 日 發 送 済

任 主 後藤總領事

昭 和 十 八 年 六 月 四 日 起 草

淨書 (原稿) (淨書)

名 件 録 記 名 人 信 發

外 務 省

名 件 録 記 名 人 信 發

先付送達

瑞典公使館

在 本 邦

口 上 書 目

帝國外務省ハ在本邦瑞典國公使館ヨリ五月

日 和 蘭 公 使 館 建 物 ヲ 國 際 基 督 教 青 年 會 中 主 委 員 會 事 務 所 為 用 方 件

(日本標準規格 B5)

04.4:2.156.-EPI.

在歐國際移民關係協會  
井上總領事

La Légation de Suisse a l'honneur de recourir aux extrêmes bons offices du Ministère Impérial des Affaires étrangères en vue d'obtenir des précisions sur la liquidation des biens de M. Harry John Griffiths, sujet britannique, décédé, le 1er avril 1944, au camp de la "Canadian Academy" à Kobe.

Elle désirerait connaître le produit net de la vente effectuée par les administrateurs de M. Griffiths d'un terrain de 204 tsuuo, situé Ninomiya-cho, 1-cho-me, Kobe, sur lequel s'élevaient une maison à deux étages de style occidental, une maison japonaise à deux étages et un immeuble à deux étages (Fabrique J.L. Thompson & Co. Ltd).

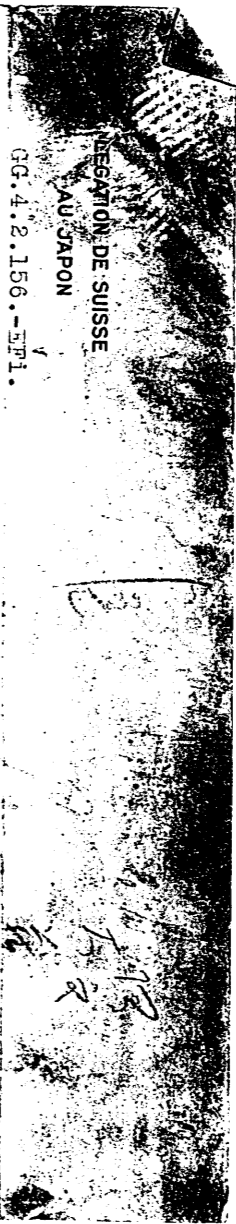
Il intéresserait, en outre, la Légation de connaître ce que sont devenus les effets et objets suivants de M. Griffiths:

- 57 caisses de livres et objets d'art;
- 3 malles d'habits à la résidence du défunt;
- mobillier, livres et effets personnels à la résidence du défunt;
- 4 microscopes;
- des provisions à Ninomiya-cho, 1-cho-me;
- 2 coffres-forts et meubles de bureau;
- des instruments chirurgicaux et diverses marchandises;
- le mobilier et les effets personnels que le défunt avait au camp;
- 3 appareils photographiques entre les mains de la Police.

昭和十九年 五月拾

氏名	井上總領事
職名	井上總領事
住所	神戸市兵庫区中野町2丁目1番1号
備考	

文書管理係



日本國駐新嘉坡領事 井上總領事

La légation de Suisse a l'honneur de recourir aux extrêmes bons offices du Ministère Impérial des Affaires étrangères en vue d'obtenir des précisions sur la liquidation des biens de M. Harry John Griffiths, sujet britannique, décédé, le 1er avril 1944, au camp de la "Coroëdian" (pendant à Iobé).

Elle désirerait connaître le produit net de la vente effectuée par les administrateurs de M. Griffiths d'un terrain de 604 tsubo, situé Minamiya-cho, 1-cho-me, Iobé, sur lequel s'élevaient une maison à deux étages de style occidental, une maison japonaise à deux étages et un immeuble à deux étages (Morioka & I. Monoson, Co. Ltd.).

El intéresserait, en outre, la légation de connaître ce que sont devenus les effets et objets suivants de M. Griffiths:

- 1) 37 caisses de livres et objets d'art;
- 2) malles d'habits à la résidence du défunt;
- 3) mobilier, livres et effets personnels à la résidence du défunt;
- 4) microscopes;
- 5) des provisions à Minamiya-cho, I-cho-me;
- 6) coffres-forts et meubles de bureau;
- 7) des instruments chirurgicaux et diverses marchandises;
- 8) Le mobilier et les effets personnels que le défunt avait au camp;
- 9) appareils photographiques entre les mains de la Police.

昭和十九年五月拾

件名	文書探査記録
送附先	文書探査記録
送附日	昭和十九年五月十七日
送附人	神戶探査中、北沢、第1、H.S. Griffiths
送附先	文書探査記録 (内) 2... (本)

Au cas où ces effets auraient été vendus, la Légation serait désireuse de connaître le résultat de la vente. Elle attacherait également du prix à savoir:

- a) ce que sont devenus les roubles papier et l'argent japonais qui devaient se trouver dans le bureau de la résidence de M. Griffiths;
- b) le solde actif du compte-courant que le défunt avait à la succursale de Kobé de la "Chartered Bank of India, Australia and China";
- c) le montant total du crédit du défunt à son compte à la "Tokushyu Kanri Zaisen";
- d) enfin, ce qu'il est advenu des produits chimiques suivants entreposés dans un dépôt autrefois utilisé par la "J.I. Thompson & Co. (Retail) Ltd.": "Jotoi," essences et bi-pletinoides.

En remerciant d'avance le Ministère Impérial de son obligeante réponse à cet égard, la Légation saisit cette occasion de lui renouveler les assurances de sa haute considération.

Tokio, le 17 mai 1944.





文書課長

在歐國居留民關係事務室

No. 29/CR

抄

Translation.

Note Verbale.

The Imperial Japanese Ministry of Foreign Affairs  
 has the honour to acknowledge the receipt of a Note Verbale  
 of the Royal Swedish Legation in Tokyo dated the 31st  
 May requesting that consent be given to the Neutral Committee  
 of the International Y.M.C.A. to use House No. 3 of the  
 former Netherlands Legation as their office. The Ministry  
 of Foreign Affairs regrets to state in reply that the  
 Japanese Government are unable to comply with the above request.

11<sup>at</sup> June, 1943.

神戶市知事の報告

瑞西國公使館ハ帝國外務省ニ對シテ神戶市「カナディアンアカデミー」柳台所ニ於テ本年四月一日死去セル英國人「ハクリ」ジョニ「グライス」ノ財産清算ノ詳細通報ヲ要請スルノ光景ヲ有ス

「ハクリ」ノ財産管理人ニ依リ行ハレタル公使館ハ神戶市ニ宮町一丁目ニ在ル土地ニ百六十四坪ニ階建西洋家屋一棟、二階建日本家屋一棟、及ニ階建家屋一棟（「セントジョン」商會工場）ノ賣却ノ純收入額ヲ承知シ度レ

高左記「グライス」所持ノ如キモノ承知シ度レ

書籍類ハ美術品 三七箱

外務省

同人住居ニ在リタル衣服「トランク」 三個

同家具、書籍類及身廻品

検査鏡 四個

金庫 三個

事務用什器、事務用機具、及雜品

柳台所ニ在リタル什器、身廻品

警察署ニ引渡サレタル寫真機 三個

右賣却ニセリタル場合、其ノ賣上金額ヲ承知シ度レ

高左記諸点ニ承知シ度レ

外務省

(イ) 「クリフニス」 住居机内ニ 在リタル「フルトブ」紙 郵券日本信託銀行	(ロ) 「チャーターバンク」 オブ「インディア」 オーストラリア、 「インド」 「チャイナ」銀行	神戸支店ニ有リタル 同人共同積立金ノ 残額	(ハ) 「特種財産管理」 於ケル同人ノ 貸付勘定	(ニ) 「セント・エルトムソン」 商會(小賣部)ノ 使用シ居リタル 倉庫内 ニ保管セラル 居リタル「化学製 品」「ロトル」 揮発性油及「重」 「プラチ」 「ノイド」(洋銀ト タレグスナシノ 倉庫)	公便係ハ 外部有リ 好意有ル 同僚等 謝シ 片々ニ 宣示セテ	好意有リタル	一九四二年五月十七日 外務省
---	--	-----------------------------	--------------------------------	---	---	--------	-------------------



鈴木公使  
 井上總督  
 昭和二十年四月二十八日  
 大藏省外資局長 久保文  
 外管第五式登簿  
 昭和二十年五月拾貳日接受

大日本帝國政府

外務省在敵國居留民關係事務室  
 鈴木公使 殿

客年五月二十四日及本年二月十四日付御照會ニ係ル「ハリ・ジョーン・グリフ・イス」所有財産處分狀況ニ關スル件右ハ神戸信託株式會社ニ於テ管理中ニ有之候モ御照會事項ハ總テ前敵產管理人（三宅仁之助）當時ノ處理ニ係ルモノニ有之ニ關スル帳簿書類ハ既ニ嚴重ナル尙造ノ上當局指定ノ倉庫會社ニ入庫濟ナル爲目下詳細ナル事情判明致難ク候ニ付御了承相成度  
 追而斯ノ種ノモノハ戰後ニ於テ入庫濟關係帳簿書類ニヨリ總テ明確

大日本帝國政府

ト相成ル見込ニ有之候ニ付爲念申添候  
 尙現管理人等ニ付取調べタル概要左ノ如シ  
 記  
 一、書籍及美術品  
 共ニ前管理人ニ於テ書籍ハ丸善へ、美術品ハ神戸市神戸區元町三丁目播新商店ニ處分濟  
 二、同人ノ住宅ニ在リタル衣服（トランク）  
 何等見ルベキ衣服ナカリシ模様  
 三、(1) 同家具、書籍及身廻品  
 (2) 檢 微 鏡  
 入庫濟帳簿ニ依ルニ非ザレバ詳細不明  
 四、金庫及事務所什器、外  
 本人所有ニ非ズシテ、ムソン商會ノ所有ニ係ルモノノ如シ  
 五、抑留所ニ在リタル什器及身廻品

大日本帝國政府

書籍八冊、寢臺一臺、トランク一個、衣服（寢具、ワイシャツ、古服）三點ハ藤本商店ノ評價ニヨリ田中左司馬ニ價格百圓ヲ以テ賣却

六 警察ニ引渡サレタル寫真機

双眼鏡ト共ニ兵庫縣外事課ニ保管中

七 住宅机内ニ在リタル管ノ「ルーブル」紙幣及日本貨幣並ニ千ヤター

ト銀行神戸支店預金殘

前敵產管理人ニ於テ特殊財產管理勘定ヘ拂込濟

八 特殊財產管理勘定ニ於ケル同人ノ貸方勘定

現 在 額 四三九二〇圓一四

九 化學製品「ロトル」揮發油及重「ブラテイノイド」（洋銀ト「タン

グステン」ノ合金）

入庫濟帳簿ニヨルニ非ザレバ詳細不明ナルモ相當年數經過シ居リシ

爲使用ニ堪ヘザリシモノモ有之タル模様ナリ

大日本帝國政府

十 (イ) 宅 地（二宮町一丁目所在） 五筆二二四坪八〇

(ロ) 建 物（ ） 五棟

宅地及建物共ニ價格三八九七三圓ヲ以テ昭和十八年十二月土佐

德一ニ賣却濟

鈴木公使

在歐留民關係事務室

昭和貳拾年五月拾貳日接受

昭和二十年四月二十八日

藏外管第五貳壹貳號

大藏省外資局長 久保文



外務省在歐國居留民關係事務室

鈴木公使 殿

大日本帝國政府

様は皇親國戚

客年十二月二十六日付民普通第三五八號ヲ以テ御照會ニ係ル英國人「ジェフエリー」所有財産處分狀況ニ關スル件右ハ「ハリ・ジョーン・グリフィス」分ニ關スル回答ニ於テ詳記セル如ク且ハ關係帳簿書類ガ入庫済ニシテ急速ニ調査致難キ事情ニ有之候條戰後迄之ガ調査ノ留保方御取計相煩度右及通知候也

追而本敵産ノ敵産管理人ハ神戸信託株式會社ニ有之候モ御照會事

大日本帝國政府

項ハ前敵産管理人當時ノ處理ニ係ルモノニ有之候尙香港上海銀行神戸支店預金ハ三〇七八圓三圓四有之候處立替金ノ支拂ヲ受ケ居リタルモノニ一九四五錢有之差引現在特殊財産管理勘定ニハ壹千八百五拾八圓七拾九錢ト相成居候ニ付爲念申添候

LEGATION DE SUISSE

AU JAPON

G.G. 9.1.8.-FFg.

日	月	年	時

死に美人 (キム・ヒル)

Par notes des 20 décembre et 3 mars derniers,

la Légation de Suisse a eu l'honneur de recourir aux extrêmes bons offices du Ministère Impérial des Affaires étrangères en vue d'obtenir des informations sur la liquidation des biens de M. Edward Charles Jeffery, ressortissant britannique décédé à Kobé, le 9 avril 1941, autrefois comptable de la maison Dodwell & Co., Limited.

La Légation précisait que, selon des informations qui lui étaient parvenues, le défunt était titulaire d'un dépôt s'élevant à environ 2.700 yen à la "Hongkong and Shanghai Banking Corporation" à Kobé, et était propriétaire, en outre, de biens mobiliers qui auraient été liquidés par ses administrateurs.

Sans réponse à ce jour, la Légation se permet de rappeler cette affaire à la bienveillante attention du Ministère Impérial.

En le remerciant d'avance de son obligeante entremise, la Légation saisit cette occasion de lui renouveler les assurances de sa haute considération.

Tokio, le 8 mai 1945.



記録係

Au Ministère Impérial des Affaires étrangères,

Tokio.

駐日スイス領事館

鈴木公使

「ヒル」の遺言

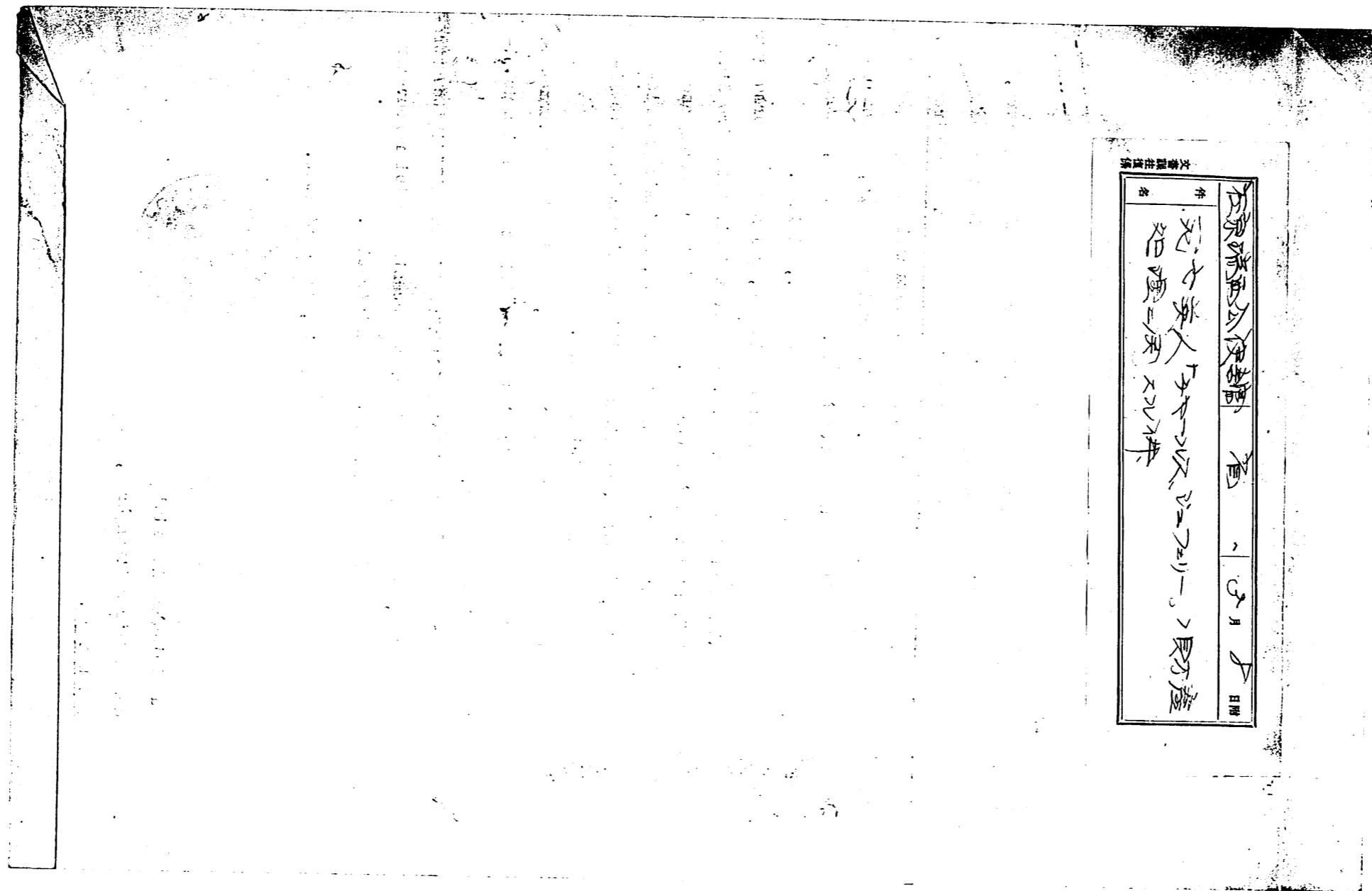
自筆文

井上総領事

昭和二十九年五月拾日

接受





文書目録  
 年 月 日  
 宛先 東京府 芝罘 芝罘 芝罘  
 宛先 芝罘 芝罘 芝罘 芝罘  
 宛先 芝罘 芝罘 芝罘 芝罘





公  
信  
案

外  
務  
省

アリ差引現在特殊財政管理勘定ニハ一八五八円七九銭  
トナリ各<sup>振込</sup>同<sup>振込</sup>之使館、回答スルノ先索ヲ有ス

(日本標準規格 B5)

No. 139/C.R.

NOTE VERBALE

Se référant à la Note No. 97.9.1.8.-FFG. de la Légation de Suisse, en date du 8 de ce mois, concernant les biens laissés par le ressortissant britannique Edward Charles Jeffery, autrefois comptable de la maison Dodwell & Co. Ltd. à Kobe, décédé le 9 avril 1941, le Ministère Impérial des Affaires étrangères a l'honneur de lui communiquer la réponse des autorités compétentes à ce sujet:

L'administrateur des biens en question est la "Kobe Trust Co. Ltd.". Toutefois, la liquidation de ces biens, dont la Légation de Suisse demandait des informations, ayant été opérée lorsqu'ils se trouvaient confiés à l'administrateur précédent, et les livres et documents y relatifs se trouvant déjà emmagasinés, il est difficile de faire rapidement des recherches.

Le défunt avait un compte de 2.078,34 yen auprès de la succursale à Kobe de la "Hongkong et Shanghai Banking Corporation", du fait du paiement en avance d'une somme de 219,55 yen, qu'il avait reçu de cette dernière, le solde actif du défunt dans le compte spécial "Tokushu Zaisan Kanri" est de 1.858,79 yen.

Le 5 mai 1945.

送付 1  
取付 2

發信用執務用		主信		1	2	3
附		甲				
附		乙				
附		丙				
附		丁				
備考		G1.				

要件

文書課發送日	昭和廿年六月六日	文書課長
主送	井上總長	
抄送	井上總長	
名	普通	第
號	昭和廿年六月五日	日附
附屬		
淨書	付不	正校(原稿)ス
		(淨書)記
		昭和廿年五月十五日起草
名人信發	外務省	
先付送寫		
名件	(美人「ハリ、ジョン、グリフス」の財産処分に関する件)	
公信案	口上書	
外務省	帝國外務省「客年四月一日兵庫柳留所」に於て死亡	

(日本標準規格 B5)

セル英國人ハリ、ジョン、グリフス、所有ノ動産不動産ノ  
 処分状況、因スル客年五月十七日附GG四二、一五六號号及  
 其ノ後、口上書ノ受領シ主務官廳ニ照會ノ結果同官廳  
 より今般左記ノ通函報アリタルト同ノ使館ニ回答スルノ光  
 榮ヲ有ス

記

ハリ、ジョン、グリフス、所有財産ハ神戸信託株式會社ニ於  
 テ管理中ナル知、在東京臨西園ニ使館ノ照會事項ハ

(日本標準規格 B5)

總之前敵產管理人三宅仁之助當時ノ処理ニ依リ之、  
 因スル帳簿書類ニ就テ嚴重ナル汚損製造ノ上當局指定ノ  
 倉庫会社ニ入庫済ナル爲目下詳細ナル事情判明シ難  
 此ノ帳簿書類ニ就テ戰後ニ於テ入庫済内休帳簿書類ニ依リ  
 總之明確トナル見テハ現 管理人等ニ付取柄ナル概  
 要左ノ如シ  
 一、書籍及美術品 前管理人ノホク書籍ハ丸善ハ、美  
 術品ハ神戸市神戸区元町三丁目播新商店ニ処分済  
 公 信 案 外 務 省

(日本標準規格B5)

- 二、同人ノ住宅ニ在リタル衣服(トランク) 何等見ハベキ衣服ナカリテ模様
- 三、(1)家具、書籍及身廻品
- 四、檢徴 鏡
- 共ニ入庫済帳簿ニ依リテ非サレバ詳細不明
- 四、倉庫及事務所什器等 本人所有、非スシテ「トムソン」
- 南会ノ所有ニ録ルモノノ如シ
- 五、柳留行ニ在リタル什器及身廻品 書籍八冊、寢臺一
- 套、トランク一個、衣服(寢具、「ワイシャツ」、古服)三點ハ

公 信 案

入庫済帳簿：依りて非ず亦詳細不明ナル之相當年数  
 経過レ居リシ爲使用、堪ハザリレモ、モ有ニアル換取ナリ

十、(由宅地) (二宮町一丁目所存) 五筆、二ニ四坪八〇

(由建物) ( ) 五棟

宅地及建物共：價格三八、九七三圓ヲ以テ昭和十八年十二月  
 土佐徳一ニ賣却済

(以上)

(日本標準規格 B5)

公 信 案

藤本南吉ノ評價：ヨリ田中左司馬ニ價格百圓、以テ賣却済。

六、葬券：引換セタル官券共、双眼鏡ト共、兵庫縣外事課ニ保管中

七、住宅机内：存リタル「ハル」紙幣及日本貨幣並ニ「チャーター」銀  
 行神戸支店豫金残、前般存管理人：於テ特殊財産  
 管理勘定ハ拂込済。

八、特殊財産管理勘定、於テ同入、貸付勘定

現在額 四二、九二〇圓一四

九、化學製品「ロトル」揮発油及重「フライノイド」

外 務 省

(日本標準規格 B5)

出洋手続書

LEGATION DE SUISSE  
AU JAPON /  
GG.9.1.8.-FCg.

中  
立  
手  
続  
書

La Légation de Suisse a l'honneur de remercier le Ministère Impérial des Affaires étrangères des renseignements qu'il a bien voulu lui communiquer par note no. 139/C.R., à la date du 5 juin, sur la liquidation des biens successoraux du sujet britannique Edward Charles Jeffery, décédé le 9 avril 1941, soit avant l'ouverture des hostilités sur le Pacifique.

Elle ne manquera pas de transmettre ces informations aux Autorités Fédérales, à l'intention du Gouvernement de Grande-Bretagne.

Comme les Autorités Britanniques ne manqueront pas de demander des précisions sur la vente des effets personnels du de cujus, la Légation saurait le plus grand gré au Ministère de bien vouloir lui faire tenir une liste détaillée des biens liquidés, avec l'indication des prix de vente.

En le remerciant d'avance de son obligeante réponse, elle saisit cette occasion de lui renouveler les assurances de sa haute considération.

Karuizawa, le 14 juin 1945.

Au Ministère Impérial  
des Affaires étrangères,  
T o k i o .



在歐國居留民關係事務室

大  
公  
館

外  
務  
省





在日瑞士公使館 有 6月14日 附  
 件 死亡英人「カール・ジェフリー」の遺産  
 名 処理ニ付スル件

仰命  
 11

在日  
 瑞士  
 公使  
 館  
 文書課  
 主任  
 保

井上  
 謙三  
 氏



La Légation de Suisse a l'honneur de remercier le Ministère Impérial des Affaires étrangères des renseignements qu'il a bien voulu lui communiquer par note no. 139/C.R., à la date du 5 juin, sur la liquidation des biens successoraux du sujet britannique Edward Charles Jeffery, décédé le 9 avril 1941, soit avant l'ouverture des hostilités sur le Pacifique.

Elle ne manquera pas de transmettre ces informations aux Autorités Fédérales, à l'intention du Gouvernement de Grande-Bretagne.

Comme les Autorités Britanniques ne manqueront pas de demander des précisions sur la vente des effets personnels du de cujus, la Légation saurait le plus grand gré au Ministère de bien vouloir lui faire tenir une liste détaillée des biens liquidés, avec l'indication des prix de vente.

En le remerciant d'avance de son obligeante réponse, elle saisit cette occasion de lui renouveler les assurances de sa haute considération.

Karuizawa, le 14 Juin 1945.



Au Ministère Impérial  
 des Affaires étrangères,  
 T o k i o .

No. 141/C.R.

NOTE VERBALE

Se référant à la Note No. GG.4.2.156.-W1. de la Légation de Suisse, en date du 17 mai 1944 et à ses autres communications demandant des renseignements sur la liquidation des biens mobiliers et immobiliers du ressortissant britannique Harry John Griffiths décédé, le 1er avril 1944, au camp d'internement de Hyogo, le Ministère Impérial des Affaires étrangères a l'honneur de lui faire savoir qu'il vient de recevoir les informations suivantes des autorités qui avaient été saisies de cette demande:

Les biens laissés par M. Harry John Griffiths sont placés sous l'administration de la "Kobe Trust Co. Ltd.". Toutefois, les renseignements que la Légation de Suisse demandait concernent les opérations faites au moment où ces biens étaient confiés à l'administrateur précédent, M. Jinnosuke Miyake, et les livres et documents y relatifs se trouvent déposés, emballés soigneusement, à une compagnie d'entrepôt désignée par les autorités compétentes. Dans ces circonstances, il est difficile pour le moment de donner des détails, mais les renseignements obtenus de l'administrateur actuel et d'autres sources sont en somme comme suit:

1. Les livres et les objets d'art.  
Les livres ont été vendus à la librairie "Maruzen" et les objets d'art à la maison "Harishin", 3-chome, Motomachi, Kobe-ku,

Kobe, par l'administrateur précédent.

2. Les malles d'habits à la résidence du défunt.  
Elles ne semblent pas contenir des habits qui ont leur prix.
3. A. Les mobiliers, les livres et les effets personnels.  
B. Les microscopes.

Il est impossible de donner des détails sans consulter les livres emmagasinés.

4. Les coffres-forts, les meubles de bureau, etc.  
Ces objets ne sont pas, semble-t-il, la propriété du défunt, mais la propriété de la maison "Tomson".

5. Le mobilier et les effets personnels que le défunt avait au camp.

8 livres, 1 lit, 1 malle, 1 literie, 1 malle, 1 chemise de jour et 1 vieux habit ont été vendus à M. Sashima Tanaka au prix de 100 yen, prix fixé d'après l'évaluation de la maison "Fujimoto".

6. Les appareils photographiques entre les mains de la police.

Ces appareils sont gardés, avec une jumelle de campagne, à la Section des Affaires étrangères de la Prefecture de Hyogo.

7. Les roubles papier et l'argent japonais qui devaient se trouver dans le bureau de la résidence du défunt; et le

solde actif du compte-courant que le défunt avait à la succursale de Kobe de la "Chartered Bank of India, Australia and China".

Tous ces argets ont été versés par l'administrateur précédent dans le compte "Tokushu Zaisan Kwanri".

8. Le montant total du crédit du défunt à son compte à la "Tokushu Zaisan Kwanri".

42.920,14 yen.

9. Les produits chimiques: lotol, essences et bi-platinoïdes..

Des détails ne peuvent être donnés que d'après les livres emmagasinés. Toutefois, ces produits ne semblent plus, en partie, utilisables, vu de longues années de conserve.

10.

A. Le terrain bâti sis à I-chome, Ninomiya-cho: cinq parcelles d'une superficie totale de 224 tsubo 20 go.

B. Le bâtiment sis à I-chome, Ninomiya-cho: cinq maisons.

Le terrain et le bâtiment ont été vendus, en décembre 1943, à M. Tokuchi Tosa au prix de 38.973 yen.

Le 6 juin 1945.

宛信用 1  
録取用 2

主信	發信用	執務用	2
附甲			
附乙			
附丙			
附丁			
備考			

懸案

公文書案	先付送寫	名人信受	名人信發
	名件	大藏省外資局長	鈴木三氏
名件	英國人「ジェフリー」ノ遺産ニ関スル件	名件録記	
本件と同シ、四月二十八日附藏外管第百五十二号書信ヲ			
以テ市相成之ニ基テ利子代表例ニ回答致シ置キ知ル			
外務省	管機密 第一〇〇〇号	昭和廿年六月廿五日 日附	附屬 別紙
	主任藏國居留民關係事務室	主任 津上 昭和廿年六月廿二日起草	正校 (原稿)
	文書課發送日	昭和廿年六月廿七日	淨書

(日本標準規格 B5)

文書課長

別紙

不意清而不意後口上書(一九四一、六、一四附) 假淳  
 跡亦國に送附ハ六月三日附 台書第一三九号口上書ヲ以テ通  
 報セシタル情事(一九四一年) 四月九日即チ太平洋戦争勃発前死  
 亡セシ英國人「エドワード・ジェフリー」ノ遺産清算ニ関ス  
 ル情報ニ付外務省ニ謝意ヲ表スルノ光榮ヲ有ス  
 又後送ニ英國政府ノ答ニ本國政府ニ轉報スベシ  
 英國政府ニ去人ノ私有品と却テ同シ委細ヲ要求スベ  
 キニ付本使館ニ清算帳簿、細目表及其ノ資料等ヲ  
 表ヲ供セセルル様外務省ニ懇請ス  
 又後送ニ係ル外務省ノ回答ニ謝意ヲ表シ同者ニ付し有ル  
 テ致意ヲ表ス

(日本標準規格 B5)

同館より介般分紙復録ノ通申出タリ 而シテ其ノ<sup>狀</sup>知分狀況  
 ニ関シ詳細ナル調査ハ仰申候ノ理由ニ依リ困難ナル旨 貴方  
 已指摘シ置タルモ「グリブス」合ニ関スル 貴方回答ニハ或程  
 交々方希望ノ點ヲ明確ニセシレ 尚ル次第モ有リ 貴方<sup>トシ</sup>詳報<sup>ハ之ヲ</sup>戦後<sup>ニ</sup>省保<sup>ノ</sup>トシ  
 「い合」付ラモ<sup>右ト</sup>同務程<sup>ニ</sup>情報<sup>ヲ</sup>提供<sup>シ</sup>得ル<sup>ハ</sup>難<sup>シ</sup> 好都合  
 ト存セラル、ニ付委細別紙ニテ仰園高ノ上 何カノ儀 仰  
 仰事相格交

(分紙復録送付)

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

甲

大

天

A70.0.9-17

寺外第三〇五號	昭和二十年七月五日	特別高等警察部	外事課長	外務省政務局第四課長殿	元伊太利大使館及領事館ノ帶納電話料金 徴收ニ関スル件	本年五月十一日付收番第ニ四八號郵照會ニ係 ル標記ノ件ニ関シ支拂方督戻セル結果右記ノ 通り徴收致候條現金及小切手貳枚相添へ此致 及回答候也	記	警視廳	一、ベルトーニ 昭和十八年七、八兩月中電話通話料金、四拾 五円七拾五銭督促料金貳拾銭	ニ、バルサモ 計四拾五円九拾五銭也現金支拂	昭和三十八年七、八兩月中電話料	金四拾五円五拾銭也横浜正金銀行東 宮支店小切手ニテ支拂	三、ハイヌロツキ 昭和十八年七、八兩月中電話料參拾四円參拾 銭及九月分通話料四円四拾銭、並ニ督促 料貳拾銭
---------	-----------	---------	------	-------------	-------------------------------	---	---	-----	--	--------------------------	-----------------	--------------------------------	--

(四伍社務)

貼了

計金 參拾八円九拾錢也 横浜正金銀  
 行 神戸支店ホ切手ニテ支辨、  
 右金計現金 四拾五円九拾五錢 及小切手八拾  
 四円、四拾錢ニシテ小切手貳枚ニ開シテハ輕井沢  
 郵便局長ニ於テ銀行ヲ通ジ直接大藏省外資局  
 敵産管理課ノ承認ヲ得タル上現金拂戻方指示  
 相成度

警 視 廳

(西伯駐劄)

LEGATION DE SUISSE  
AU JAPON

GG.3.6.2.2.1.-FFd.

A 7.05 9-17

ナシチオ要信機  
D  
ノ  
シ  
チ  
オ  
要  
信  
機  
ノ  
シ  
チ  
オ  
要  
信  
機  
ノ  
シ  
チ  
オ  
要  
信  
機

極秘  
重要  
書類  
送付  
事務

*[Handwritten signature]*

*[Handwritten signature]*

20.7.15

Par notes des 30 octobre, 15 janvier, 26 mars et 7 juin derniers, la Légation de Suisse a eu l'honneur de communiquer au Ministère Impérial des Affaires étrangères une déclaration faite par Mme Phipps, aux termes de laquelle son mari, l'ancien Consul Général de Grande-Bretagne à Keijo, n'aurait jamais fait présent de son appareil radiophonique à ondes courtes à M. Yamanaka.

La Légation relevait, en effet, que lors de son départ de Keijo, en juin 1942, M. Phipps remit à M. Yamanaka une autorisation écrite de vendre tout ou partie de ses effets; il fixa les prix de vente tout en laissant à son intermédiaire une certaine marge pour les négociations. L'appareil de radio qui, à ce moment-là, était entre les mains des Autorités Japonaises, était inclus dans cette autorisation de vente.

La Légation priait, dès lors, le Ministère Impérial de bien vouloir faire procéder à un nouvel examen des circonstances dans lesquelles l'appareil de M. Phipps avait été remis au Bureau de Police de la Préfecture de Keiki et exprimait le désir de recevoir une copie de l'acte de dona-

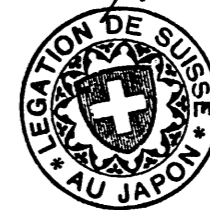
Au Ministère Impérial  
des Affaires étrangères,  
Tokio.

tion qui, d'après M. Yamanaka, aurait été établi en sa faveur.

Sans réponse à ce jour, la Légation se permet de rappeler cette affaire à la bienveillante attention du Ministère Impérial.

En le remerciant d'avance de ses extrêmes bons offices à cet égard, la Légation saisit cette occasion de lui renouveler les assurances de sa haute considération.

Karuizawa, le 9 août 1945.





(分類 A7.0.9-17.)

(票 合 照)

第一三四號

昭和ニ〇年八月ニ五日

記録件名

發信者

鈴木公使

受信者

大藏省外務局長

件名

在京城英國人「フレージャー」所有自動車  
賣却方ニ于スル件

原書ハ

A7.0.9-11-21 /

ニ在リ